

NACCS業務講習会 海上編

(保税業務)

輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社

2024年6月

文書番号: QMS3-070D-1

本資料の目的

・ 本資料の目的

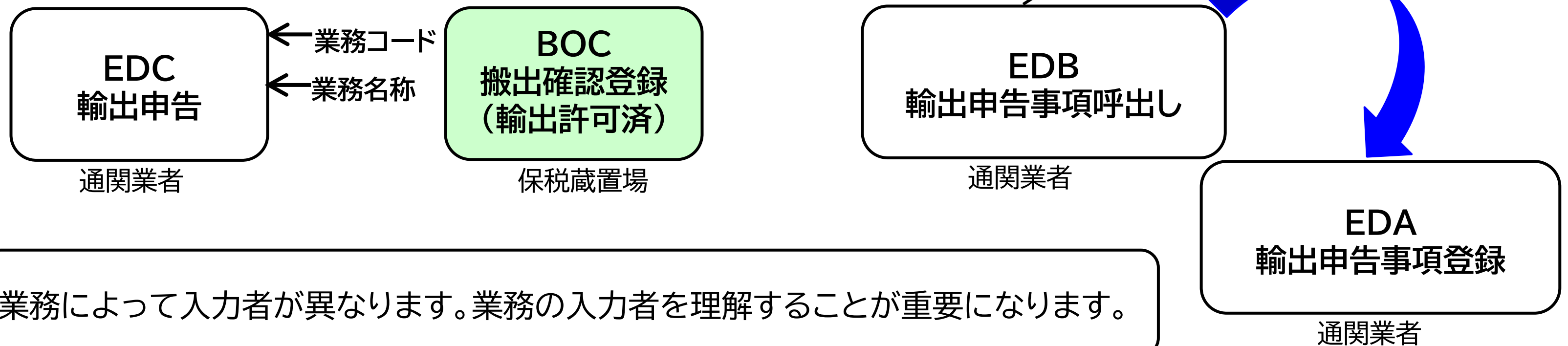
NACCSは各業界の方々が「貨物の情報」を共有し、相互利用することで、各種手続きを行います。
本資料は保税業務を中心に各業務の入力内容、照会業務などを説明いたします。

・ 業務コードについて

英字3文字または、英字3文字・数字2桁で付与しています。
本資料では、日本語の業務名も併記しています。

《 表示例 》

背景色緑は保税蔵置場の実施する業務



目次

● 輸出貨物業務(保税蔵置場)

●輸出業務フロー(輸出コンテナ貨物)	5
●輸出業務フロー(輸出在来貨物)	6
●保税蔵置場における搬出入業務フロー.....	7
●搬入業務一覧.....	8
●搬出業務一覧.....	9
●BIC:搬入確認登録(輸出未通関)	11
●BIC:搬入確認登録(輸出未通関) 注意.....	12
●BID:搬入確認登録(輸出許可済)	13
●BIE:システム外搬入確認(輸出許可済)	14
●BIF:輸出貨物情報訂正.....	15
●BOC:搬出確認登録(輸出許可済)	16
●バンニング情報登録の種類.....	17
●VAN:バンニング情報登録 (コンテナ単位)	18
●VAE:バンニング情報登録(輸出管理番号単位)	19
●VAN:経由地でバンニング情報登録(コンテナ単位)....	20
●VAD:バンニング情報訂正.....	21
●VAA:バンニング情報追加.....	22
●VAC:バンニング情報取消し.....	23
●VAC:バンニング情報取消し 注意.....	25

● 輸入貨物業務(保税蔵置場)

●輸入業務フロー(輸入コンテナ貨物)	27
●輸入業務フロー(輸入在来貨物)	28

●保税蔵置場における搬出入業務フロー.....	29
●搬入・搬出業務一覧.....	31
●BIA:搬入確認登録(保税運送貨物)	32
●BIA:搬入確認登録(保税運送貨物) 注意	34
●BIB:システム外搬入確認(輸入貨物).....	35
●BIX:システム外搬入確認取消.....	36
●BOA:搬出確認登録(保税運送貨物).....	37
●SAI:輸入貨物情報訂正.....	38
●SAI:輸入貨物情報訂正 注意.....	39

● 参考

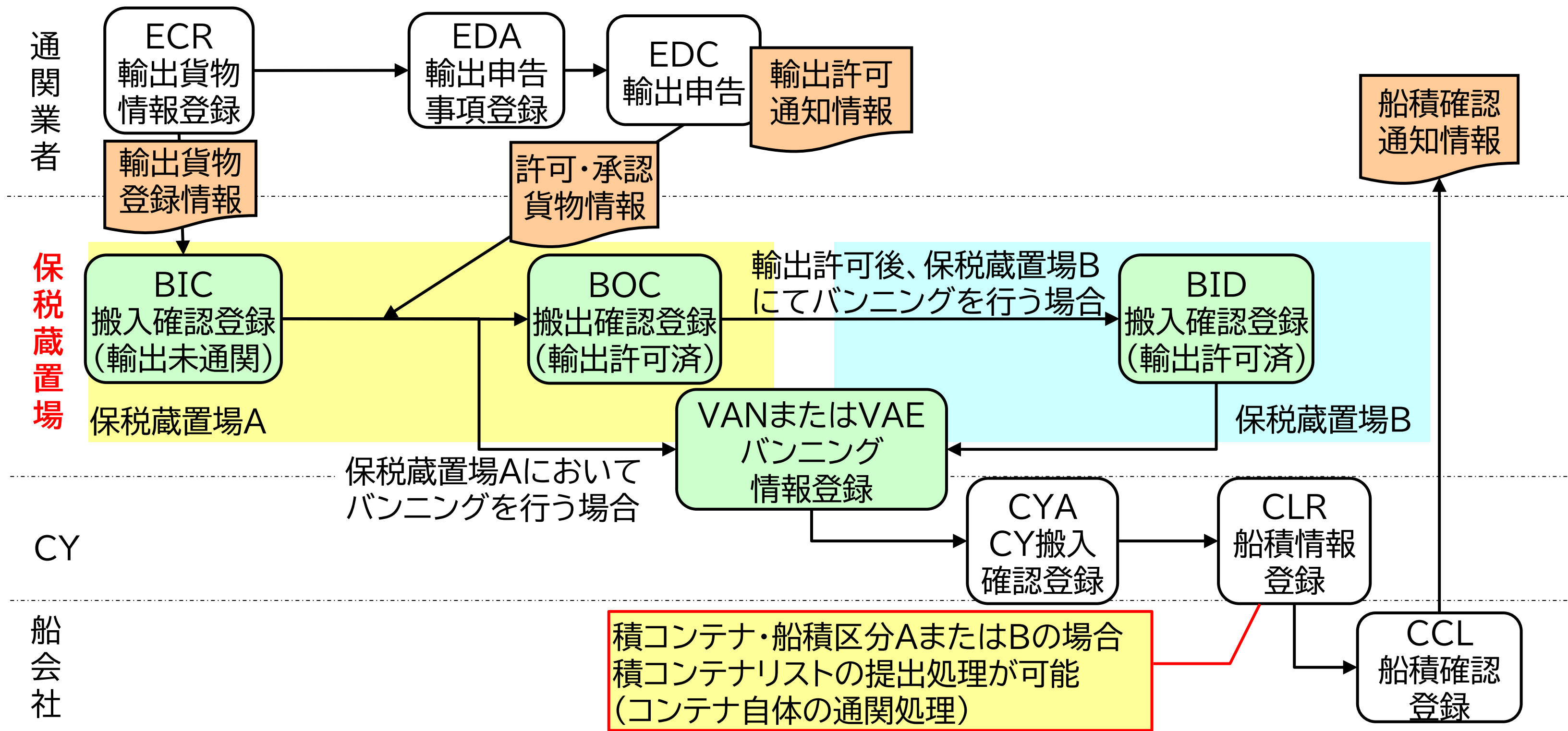
●ICG:貨物情報照会.....	41
●ICN:コンテナ情報照会.....	44
●その他情報照会業務.....	46
●業務リンク機能.....	47

● 管理統計資料

●管理統計資料について.....	49
●管理統計資料の取出し.....	51
●管理統計資料の展開.....	52
●管理統計資料の活用(保税台帳の作成について)	53
●保税管理資料保存サービス.....	55

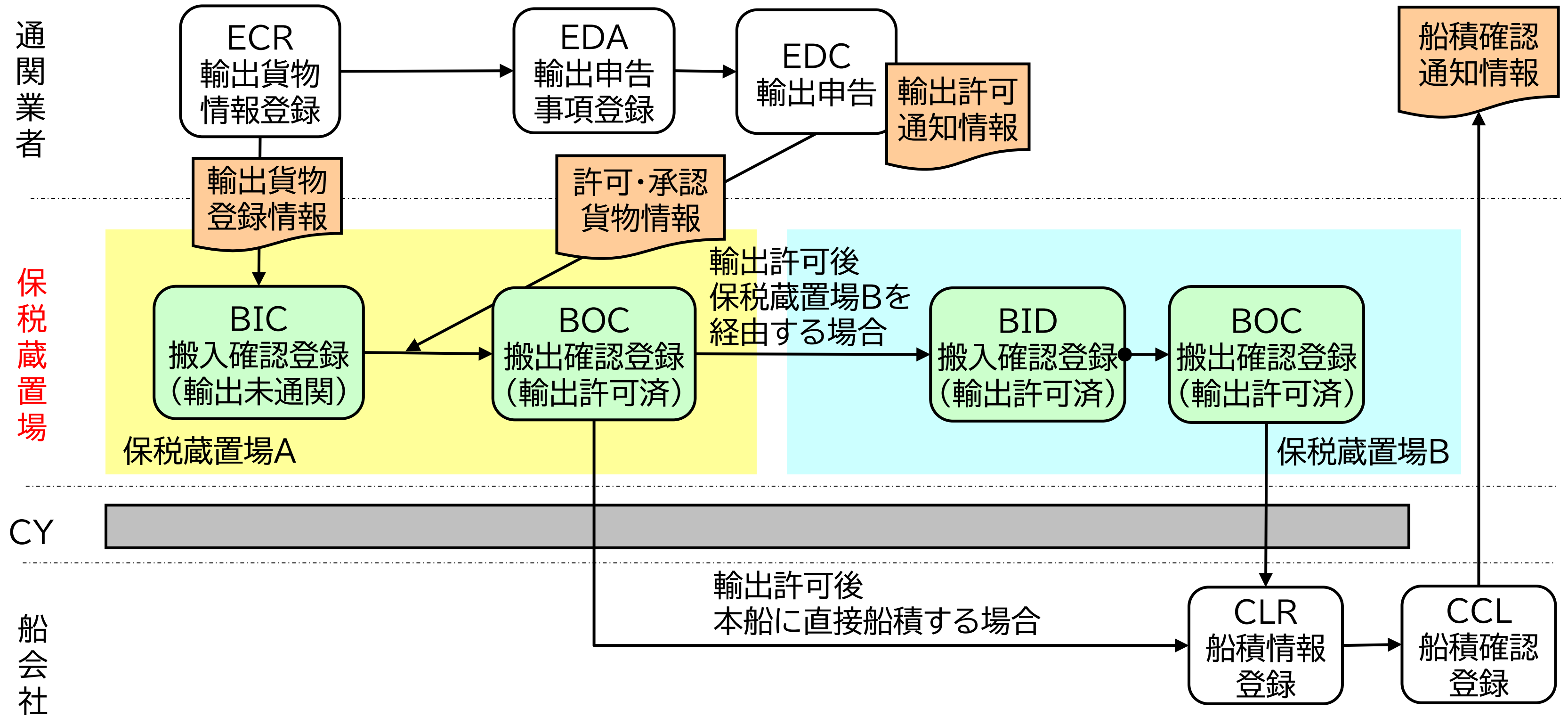
輸出貨物業務（保稅蔵置場）

輸出業務フロー(輸出コンテナ貨物)

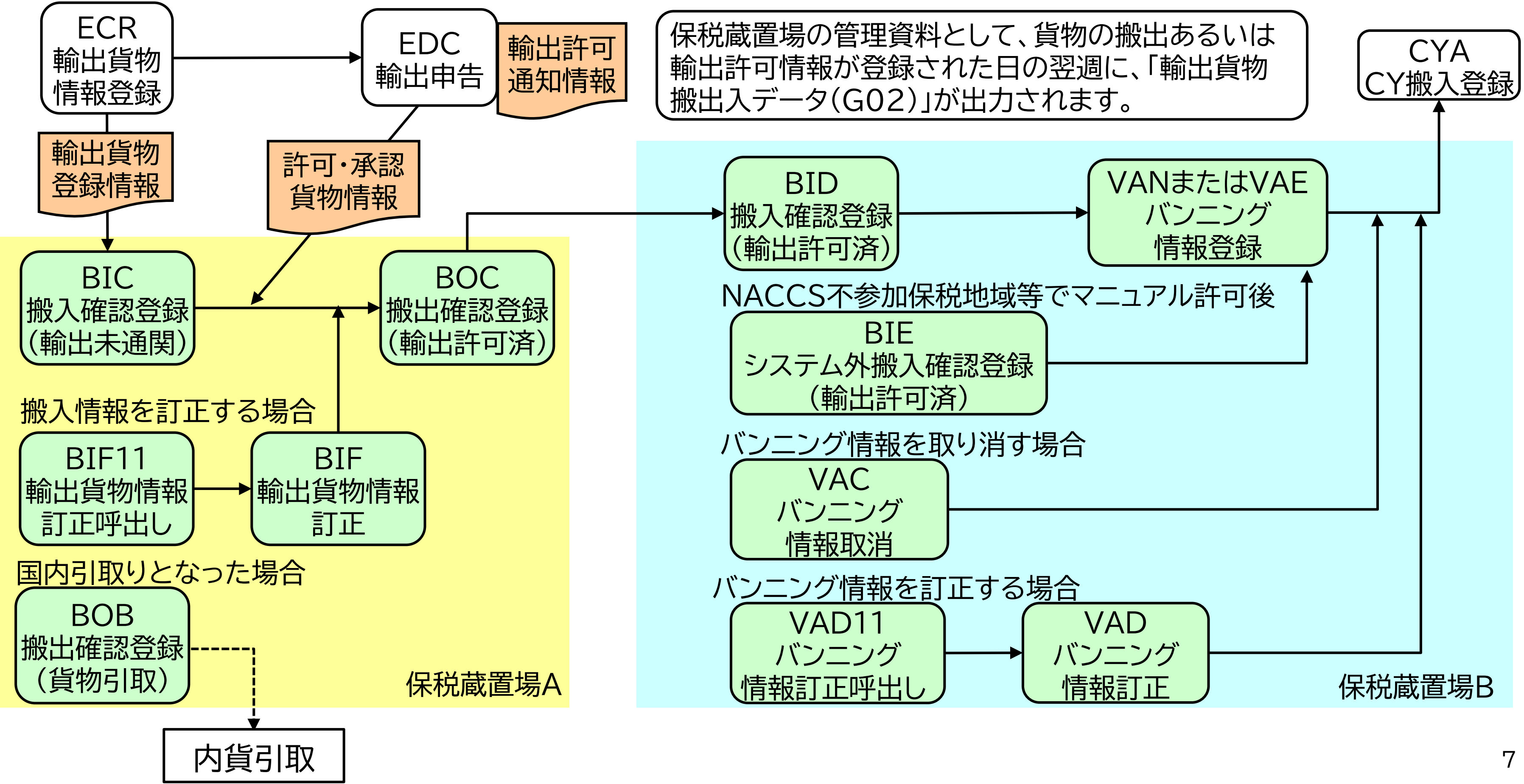


- コンテナ詰め貨物の場合、VAN(バンニング情報登録(コンテナ単位))業務／VAE(バンニング情報登録(輸出管理番号単位))業務は、輸出貨物とコンテナを関連付ける業務であり、必須業務です。
- VAN業務はコンテナ単位にバンニングする場合、VAE業務は輸出管理番号単位にバンニングする場合です。
- VAN業務／VAE業務は搬出業務を兼ねています。

輸出業務フロー(輸出在来貨物)



保税蔵置場における搬出入業務フロー

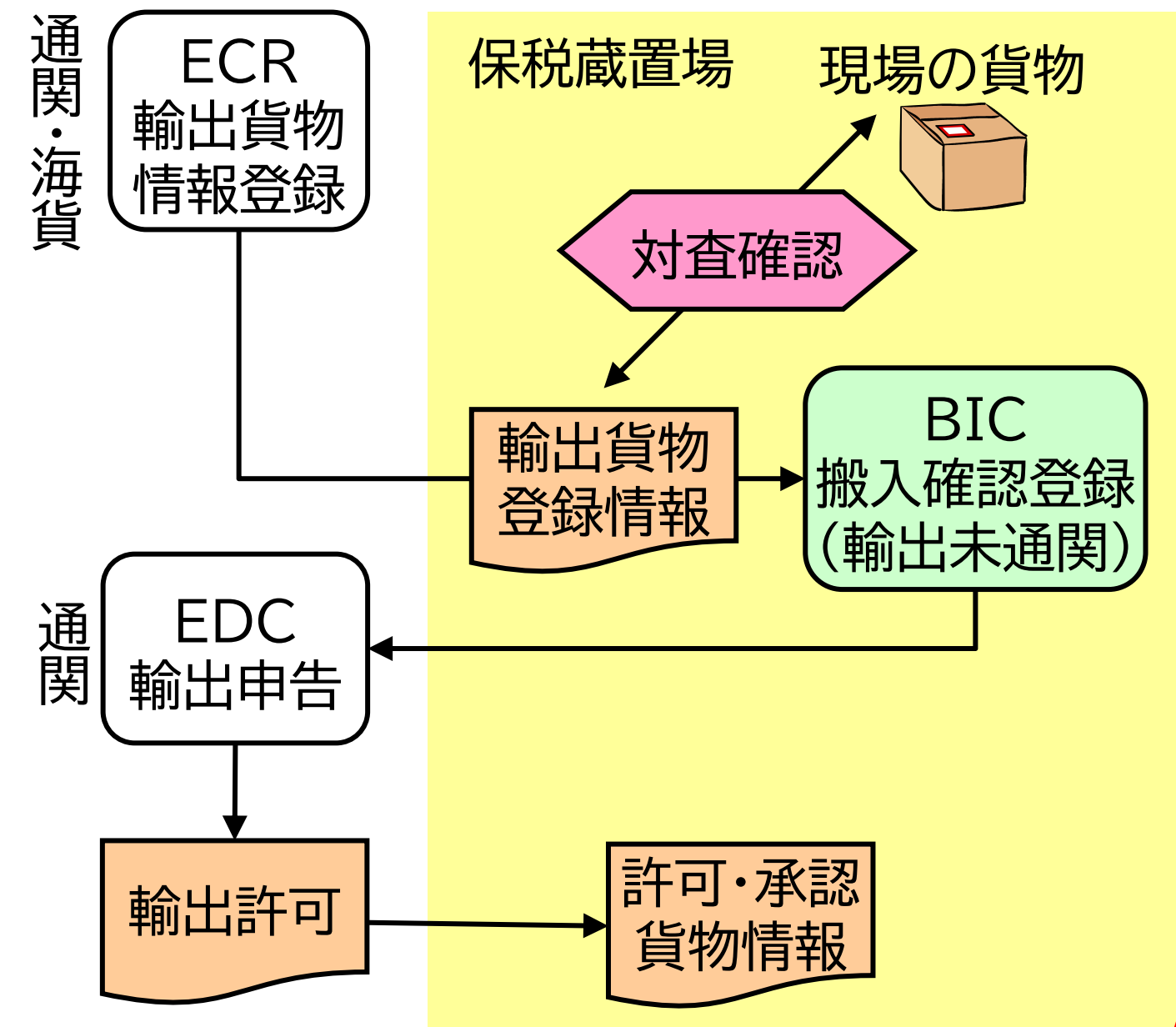


BIC 搬入確認登録 (輸出未通関)	未通関輸出貨物及び未通関積戻貨物を保税地域等に搬入した場合は、本業務により輸出貨物管理番号単位で搬入確認を行います。 特定輸出申告によるコンテナ詰めされていない許可済貨物であってECR(輸出貨物情報登録)業務で搬入予定先に指定された場合は、本業務により搬入確認を行います。
BID 搬入確認登録 (輸出許可済)	前保税地域等でBOC(搬出確認登録(輸出許可済))業務が行われている貨物をコンテナ詰めされていない状態で搬入した場合は、本業務により輸出貨物管理番号単位で搬入確認を行います。 特定輸出申告によるコンテナ詰めされていない許可済貨物であってECR業務で搬入予定先が自社施設コード等のNACCS不参加保税地域等の場合は、本業務により搬入確認を行います。
BIE システム外搬入確認登録 (輸出許可済)	本業務では貨物情報を新規に登録する処理を行い輸出管理番号を払い出します。 前保税地域等がNACCS不参加の場合であってNACCSを使用せずに輸出申告がされた許可済貨物(積戻許可を含む)をコンテナ詰めされていない状態で保税地域等に搬入した場合は、本業務により搬入確認を行います。
BIF 輸出貨物情報訂正	NACCS参加保税地域等または他所蔵置場所に蔵置されている輸出申告中あるいは輸出許可済の貨物情報を訂正する場合は、BIF11(輸出貨物情報訂正呼出し)業務で貨物情報を呼出し、本業務により訂正を行います。 本業務を送信した結果「訂正保留(P)」となった場合は、税関に保留解除の依頼が必要です。

BOC 搬出確認登録 (輸出許可済)	保税地域等に蔵置中のコンテナ詰めされていない輸出許可(積戻し許可含む。)済貨物を保税地域等から搬出する場合は、本業務により搬出確認を行います。
BOB 搬出確認登録 (貨物引取り)	保税地域等に蔵置中のコンテナ詰めされていない貨物を内貨引取によって搬出する場合は、本業務により搬出確認を行います。 減却・収容のため搬出する場合も本業務により搬出確認を行います。
VAN バンニング情報登録 (コンテナ単位)	輸出貨物をコンテナにバンニングした場合は、本業務は必須業務です。 本業務によりコンテナ番号と輸出管理番号の関連付けと共に搬出確認を行います。 NACCS不参加保税地域等でバンニングした場合は、海貨業、通関業が実施する必要があります。
VAE バンニング情報登録 (輸出管理番号単位)	
VAP バンニング情報予定登録 (コンテナ単位)	
VPE バンニング情報予定登録 (輸出管理番号単位)	本業務は任意業務です。 VAN業務またはVAE業務に先立ちあらかじめ予定情報を登録する場合に実施します。 コンテナ番号をキーとして輸出管理番号を関連付ける場合はVAP業務、輸出管理番号をキーとしてコンテナ番号を関連付ける場合はVPE業務にてバンニング予定情報を登録を行います。 コンテナ番号が不明な場合は仮コンテナ番号を払い出します。

VAD バンニング情報訂正	VAN業務またはVAE業務にて登録されたバンニング情報のバンニング個数、重量、容積等を訂正する場合は、VAD11(バンニング情報訂正呼出し)業務によりバンニング情報を呼出し、本業務により訂正を行います。
VAA バンニング情報追加	VAN業務またはVAE業務にて登録されたバンニング情報に輸出管理番号を追加する場合は、VAA11(バンニング情報追加呼出し)業務によりバンニング情報を呼出し、本業務により追加を行います。
VAC バンニング情報取消し	VAN業務またはVAE業務にて登録されたバンニング情報について、関連付けられたコンテナ番号または輸出管理番号の一括取消しあるいは一部取消しを行う場合は、本業務により取消しを行います。

BIC:搬入確認登録(輸出未通関)



- 過去日であれば登録可能
- 搬入が数日間に渡って行われた場合最後に搬入された日の日付を登録

ECR業務 出力情報

輸出貨物登録情報		
搬入予定先	1HE05 - ZOUCHE-E05	
搬入予定年月日	2024/02/09	
N-S/I 番号		
輸出管理番号	0000779061	
登録者	TU100	
輸出者	8800123456789-0000	
輸出者名	NACCS SHOJI CO., LTD.	
申告予定者	TU100	
貨物識別		
品名	VEGETABLE PRODUCTS	
個数	10 -	10 - CT
重量	100.000 -	100.000 - KGM
容積	1.000 -	1.000 - MTQ
経由地		
船会社	9999	
積載予定船舶	INACCS210 - INACMADILCS210	

BIC業務 入力画面

輸出管理番号*	0000779061		
搬入場所			
搬入日時*	2024/02/09	-	11:00
搬入個数*	10	-	CT
危険貨物等			
事故税関通知識別	▼		
事故	1	2	3
保税運送承認番号			
ブッキング番号			
記事			

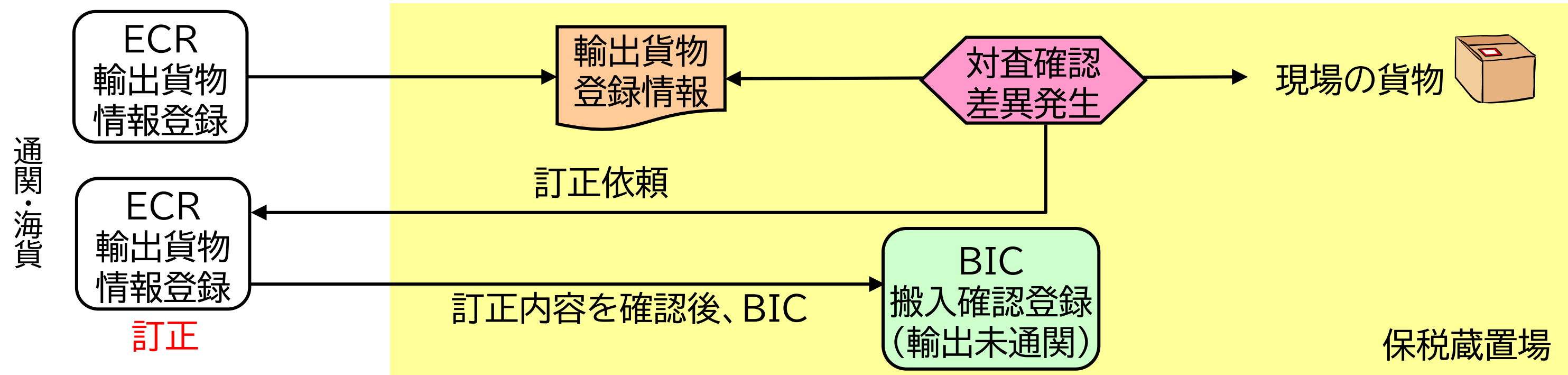
積戻し貨物の場合のみ入力可能

積戻し貨物の場合必須入力

基本的に「輸出管理番号」、「搬入日時」、「搬入個数(単位)」の必須項目を入力するのみです。

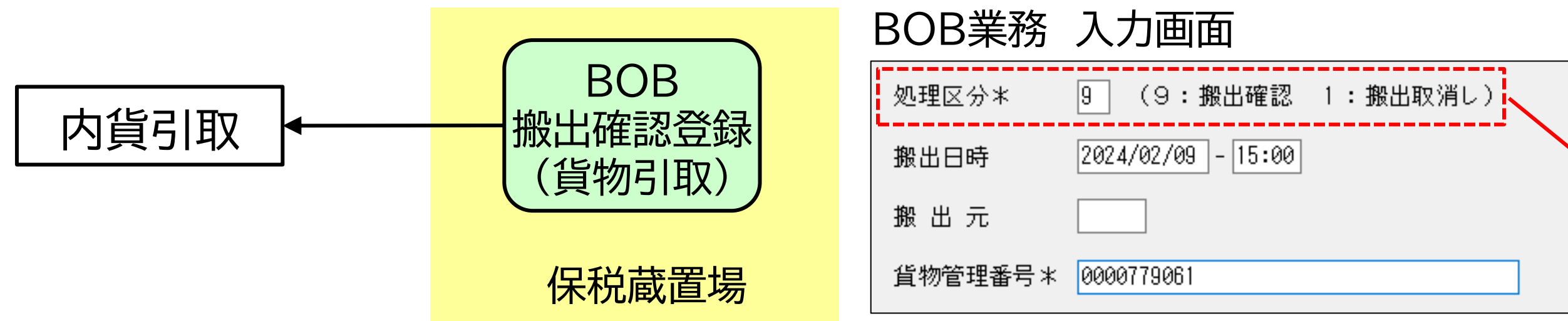
BIC:搬入確認登録(輸出未通関) 注意

(1) ECR業務と搬入貨物の個数等が合致しなかった場合



- **BIC業務を行わずに** ECR業務実施者へ連絡し、情報の訂正を依頼し、訂正が確認できてからBIC業務を実施します。

(2) 搬入した貨物の輸出がキャンセルになった場合



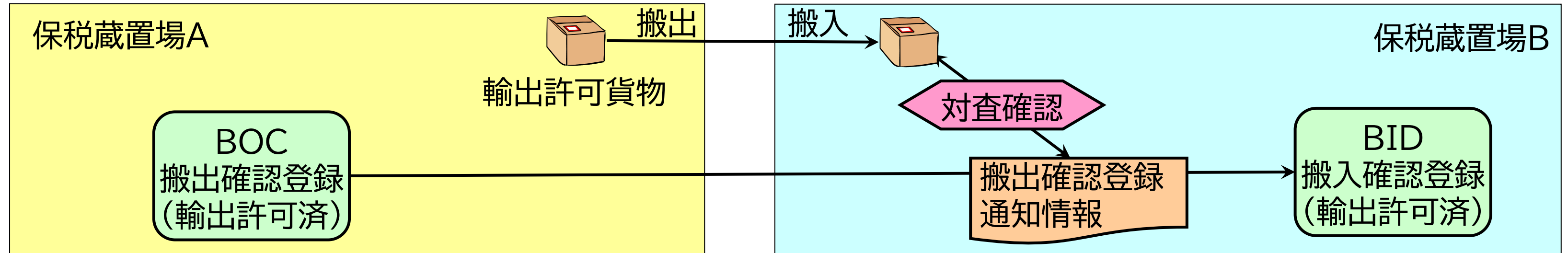
BOB業務 入力画面

処理区分*	9	(9 : 搬出確認 1 : 搬出取消し)
搬出日時	2024/02/09 - 15:00	
搬出元		
貨物管理番号*	0000779061	

- 輸出のキャンセルは「9」
- 業務自体の取消しは「1」

- 本業務には取消し業務がないので、BOB業務にて搬出確認登録を行います。
- BOB業務を実施すると、実施日を含む2日後(日曜・祝日除く)に貨物情報が削除されます。

BID:搬入確認登録(輸出許可済)



(1)全ての貨物を一度に搬入する場合

BID業務 入力画面

処理単位*	☐ T (T:一括 K:個別)
搬出番号	107110010
搬入場所	
搬入日時*	2024/02/09 - 17:00
輸出管理番号	発送個数 到着個数 税関通知識別 事故コード
01	
02	
03	

「T:一括」を入力

「T:一括」の場合は必須入力

(2)一部の貨物を搬入する場合

BID業務 入力画面

処理単位*	☐ K (T:一括 K:個別)
搬出番号	107710010
搬入場所	
搬入日時*	2024/02/09 - 17:00
輸出管理番号	発送個数 到着個数 税関通知識別 事故コード
01	0000779061 10
02	
03	

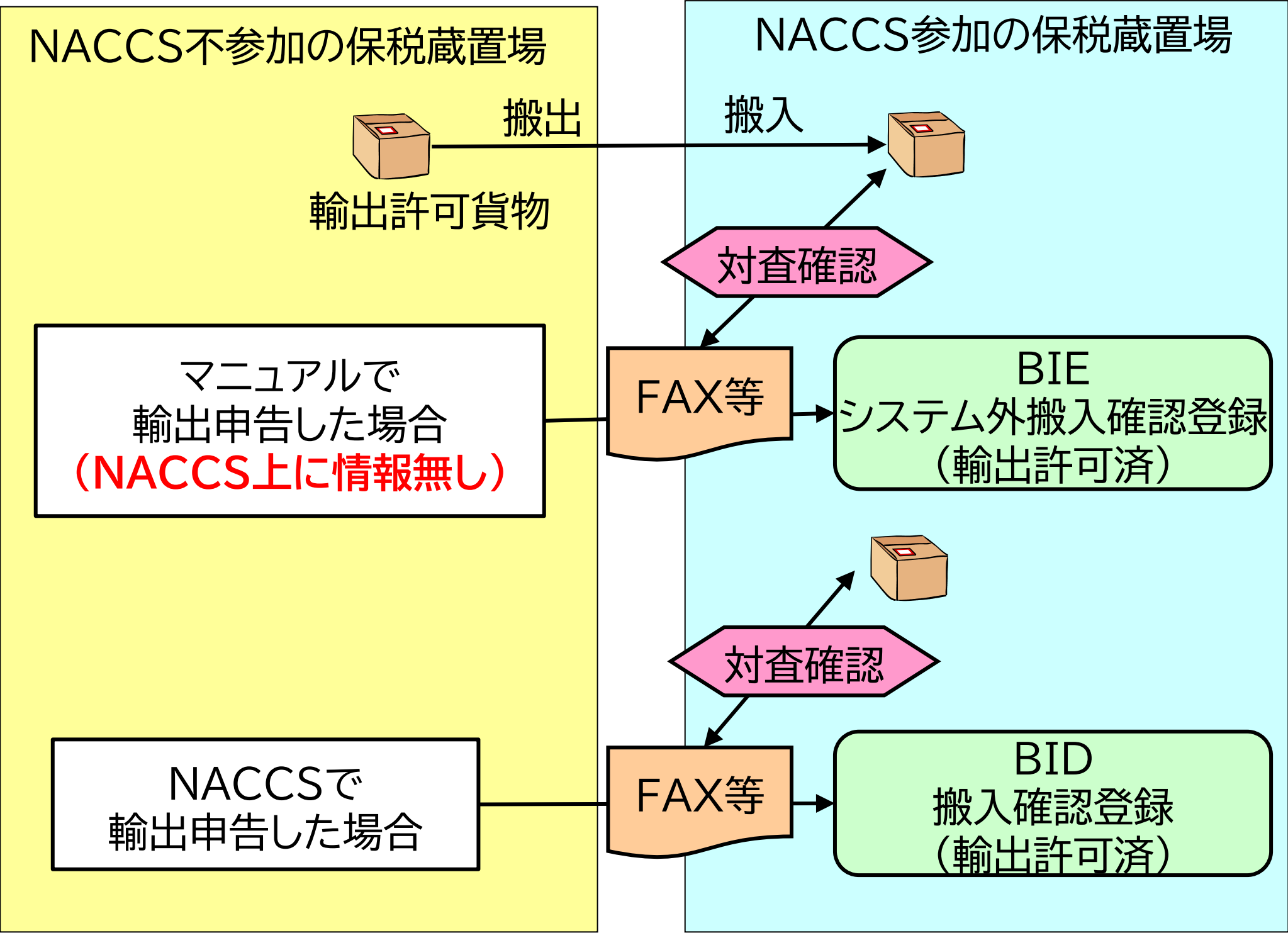
「K:個別」を入力

搬出元がNACCS
不参加保税地域等
の場合は入力不要

「K:個別」の場合は必須入力

- 搬入日時が輸出管理番号毎に異なる場合は、処理単位「K:個別」で本業務を実施します。
- 搬出番号は、以下の欄に表示されます。
 - ICG(貨物情報照会)業務の指定情報「TRN:搬出入情報」の許可承認番号欄
 - BOC業務実施時に出力される帳票「搬出確認登録通知情報」の左側最上部

BIE:システム外搬入確認(輸出許可済)



BIE業務 入力画面

輸出許可番号*	1234567890		
搬入日時*	2024/02/10 - 09:00		
積戻し許可	☐		
発送個数		到着個数*	10 - CT
重量*	100.000 - KGM	容積	- MTQ
輸出者	8800123456789-0000		
輸出者名			
品名*	VEGETABLE PRODUCTS		
船会社	9999	積載予定船舶*	9999 - 航海番号
入港日	2024/02/12	積出港*	JPTYO
荷受形態*	52	出港日	2024/02/12
社内整理番号			
記号番号*	NACCS SHOJI C/NO.1-10 MADE IN JAPAN		
最終仕向地*	USSFO	ブッキング番号	NACCS001
事故税関通知識別	☐		
事故	1 ☐	2 ☐	3 ☐
危険貨物等	☐		
記事			

- 本業務は、NACCS不参加保税地域等でマニュアルで輸出申告された場合に実施します。
- NACCS不参加保税地域等でNACCSで輸出申告された場合は、BID業務を実施します。

BIF:輸出貨物情報訂正

BIF11業務 入力画面

輸出管理番号* 0000779061

蔵置場所

入力者が当該貨物が蔵置されている
保税蔵置場の場合は入力省略可能

- 1 個数・重量・容積の入力ミス
- 2 個数・重量・容積のカウントミス
- 3 税関に事故通知した貨物の訂正のため
- 4 品名に誤りがあるため
- 5 貨物の記号番号に誤りがあるため
- 6 その他の理由のため

個数訂正の場合は、「総個数」だけでなく
「搬入個数」も訂正が必要



BIF業務 入力画面

輸出管理番号* 0000779061

訂正理由*

蔵置場所 1HE05

輸出者 8800123456789-0000

輸出者名 NACCS SHOJI CO.,LTD.

申告予定者 TUI00

品名* VEGETABLE PRODUCTS

総個数* 10 - CT 総重量* 100 - KGM 総容積 1 - MTQ

船会社 9999 積載予定船舶 JNACS310 - JNACMARU-S310

航海番号 777

入港日 2024/02/12 積出港 JPTYO 出港日 2024/02/12 船卸港 USSFO

荷受形態* 52 荷渡形態 52

社内整理番号

荷主セクションコード 荷主Ref No.

記事

最終仕向地* USSFO ブッキング番号 NACCS001 積戻許可済

搬入日時 2024/02/09 - 11:00

搬入個数* 10 搬入重量* 100 搬入容積 1

記号番号* NACCS SHOJI
C/NO 1-10
MADE IN JAPAN

- 本業務は、貨物が当該蔵置場に「蔵置中」の時に実施可能です。
- BIF11業務で貨物情報を呼出してから訂正すると入力ミスを防げます。
- 既に通関業者がEDA(輸出申告事項登録)業務を実施している場合は、通関業者へ輸出申告情報の変更依頼が必要です。輸出許可後である場合は、許可後訂正が必要です。
- 「訂正保留」となった場合は、税関に保留解除の依頼が必要です。

BOC:搬出確認登録(輸出許可済)



BOC業務 入力画面

処理区分*	9	(9: 搬出確認 1: 搬出取消し (一括) 3: 搬出取消し (個別))		
搬出番号		搬出日時	2012/02/09 - 14:00	
発送地		搬入先	1HB00	
船会社		通知先		
運送会社等				
輸出管理番号		発送個数	発送重量	発送容積
01	0000779061	10	100	
02				
03				
04				
05				
06				
07				
08				

9: 搬出確認 搬出確認の場合
1: 搬出取消し(一括) 全ての貨物の搬出を一度に取り消す場合
3: 搬出取消し(個別) 一部の貨物の搬出を取り消す場合

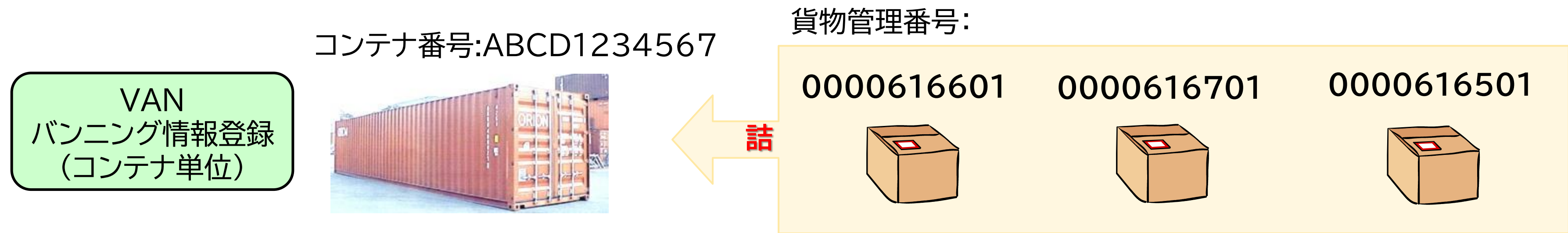
- ・搬出後に保税地域等を経由する場合
搬入先: 次に貨物が搬入される保税地域等コードを入力
船会社: 船会社コードを入力
- ・搬出後に保税地域等を経由せず直接本船へ積む場合
搬入先: 船舶コード(コールサイン)を入力
船会社: 船会社コードを入力
- ・不明な場合
搬入先: 「9999」を入力
船会社: 「9999」を入力

重量、容積は入力値で上書きされる

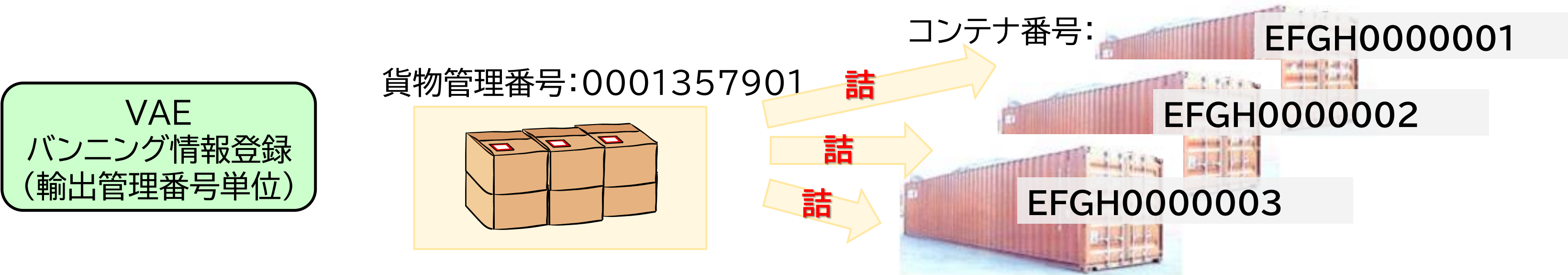
本業務の取消し可能期間は、実施日を含む60日間(日曜・祝日含む)ですが、次の保税蔵置場でBID業務が行われた場合は取消し不可です。

バンニング情報登録の種類

1本のコンテナに複数の輸出管理番号の貨物をバンニングする場合



1つの輸出管理番号の貨物を複数コンテナにバンニングする場合



VAN:バンニング情報登録（コンテナ単位）

1本のコンテナに複数の輸出管理番号の貨物をバンニングする場合
VAN11業務 入力画面

呼出区分* (A:コンテナ情報呼出し
B:ブッキング情報呼出し
C:バンニング予定情報呼出し)

コンテナ番号 船会社

仮コンテナ番号 社内整理番号

バンニング場所

輸出管理番号等

001	0000616601	002	0000616701
003	0000616501	004	

呼出区分:A
コンテナ番号:入力
輸出管理番号:入力

コンテナサイズコード	長さ x 高さ	コード
20' x 8' 0"	20	
20' x 8' 6"	22	
20' x 9' 0"	24	
20' x 9' 6"	25	
40' x 8' 0"	40	
40' x 8' 6"	42	
40' x 9' 0"	44	
40' x 9' 6"	45	

コンテナタイプ	コード
ドライ	GP
冷凍	RT
オープントップ	UT
フラットラック	PF
タンクコンテナ	TN
その他	SN

必須入力

- 直接本船に船積しない場合
搬入先の保税地域コードを入力
- 直接本船に船積する場合
積載予定船舶コードを入力

必須入力

- フラットラックコンテナの場合
「NIL」と入力

VAN業務 入力画面(共通部)

共通部 繰返部

搬入先コード* 経由地コード

積載予定船舶* 航海番号* 船会社*

積出港

搬出日時* -

コンテナ番号*

コンテナ自重 -

シール番号 1 2 3

4 5 6

コンテナサイズ コンテナタイプ

バンニング場所 -

ブッキング番号 (コンテナ)

VAN業務 入力画面(繰返部)

共通部 繰返部

001 輸出管理番号等

バンニング個数 - 重量 - 容積

ブッキング番号 (貨物)

002 輸出管理番号等

バンニング個数 - 重量 - 容積

ブッキング番号 (貨物)

003 輸出管理番号等

バンニング個数 - 重量 - 容積

ブッキング番号 (貨物)

- 経由地バンニングの場合は、経由地コードを入力し、シール番号は入力不可です。
- 1本のコンテナに輸出管理番号100件まで登録可能です。

VAE:バンニング情報登録(輸出管理番号単位)

1つの輸出管理番号の貨物を複数コンテナにバンニングする場合

VAE11業務 入力画面

輸出管理番号等0001375901

バンニング場所

社内整理番号

バンニング予定情報呼出し識別

コンテナ番号

01EFGH000000102EFGH000000203EFGH0000003040506

輸出管理番号:入力
コンテナ番号:入力

コンテナサイズコード		コンテナタイプ	コード
長さ x 高さ	コード	ドライ	GP
20' x 8' 0"	20	冷凍	RT
20' x 8' 6"	22	オープントップ	UT
20' x 9' 0"	24	フラットラック	PF
20' x 9' 6"	25	タンクコンテナ	TN
40' x 8' 0"	40	その他	SN
40' x 8' 6"	42		
40' x 9' 0"	44		
40' x 9' 6"	45		

VAE業務 入力画面(共通部)

共通部

繰返部

搬入先コード*1CB04

積載予定船舶*9999航海番号*100船会社*9999

積出港JPTY0

搬出日時*2012/02/14 - 13:00

輸出管理番号等*00001357901

バンニング場所 -

ブッキング番号(貨物単12345

複数コンテナへのバンニングの場合は
最後コンテナの搬出日時を入力

VAE業務 入力画面(繰返部)

共通部

繰返部

01コンテナ番号EFGH0000001
コンテナ自重2200 - KGM
シール番号1SEAL0123456
コンテナサイズ22コンテナタイプGP
バンニング個数16 - CS重量900 - KGM容積

02コンテナ番号EFGH0000002
コンテナ自重2200 - KGM
シール番号1SEAL0223

本業務一回につき、コンテナ30本まで登録可能です。30本を超過する場合は、複数回本業務の実施が必要です。

VAN: 経由地でバンニング情報登録(コンテナ単位)



経由地バンニング(バンニング後、別の保税蔵置場で同コンテナにバンニング)をする場合

保税蔵置場A
1HB00

※始めのバンニング場所

ABCD9876543

保税蔵置場B
1HB07

※次のバンニング場所

ABCD9876543

VAN業務 入力画面(共通部)

共通部 繰返部

搬入先コード* 1CB07 経由地コード 1HB07

積載予定船舶* 9999 航海番号* 100 船会社* 9999

積出港 JPTY0

搬出日時* 2024/02/09 - __:__

コンテナ番号* ABCD9876543

コンテナ自重 - ▾

シール番号 1 2 3

4 5 6

コンテナサイズ 22 コンテナタイプ GP ▾

バンニング場所 1HB00 -

ブッキング番号 (コンテナ) BOOKING100

必須入力

次のバンニング場所の
保税地域等コードを入力

入力不可

VAN業務 入力画面(共通部)

共通部 繰返部

搬入先コード* 1CB07 経由地コード

積載予定船舶* 9999 航海番号* 100 船会社* 9999

積出港 JPTY0

搬出日時* 2024/02/09 - __:__

コンテナ番号* ABCD9876543

コンテナ自重 2200 - KGM ▾

シール番号 1 SEAL100 2 3

4 5 6

コンテナサイズ 22 コンテナタイプ GP ▾

バンニング場所 1HB07 -

ブッキング番号

通常どおりバンニング登録を実施

VAD:バンニング情報訂正



VAD11業務 入力画面

処理区分※

3

(5 : コンテナ情報の訂正
4 : 貨物情報の訂正
3 : バンニング個数、重量、容積の訂正)

輸出管理番号等

0000405411

コンテナ番号

ABCD9876543

バンニング場所

- 複数コンテナにバンニング登録した場合
訂正したいコンテナ番号を入力
- 貨物情報や個数等の訂正する場合
任意で1本のコンテナ番号を入力

CY搬入の取消が必要

残個数がないとき

残個数:0(ゼロ)

重量:blank

容積:blank

残個数があるとき

残個数:入力

重量:入力

容積:入力

※CY搬入後でも訂正が可能

VAD業務 入力画面

処理区分※

3

(5 : コンテナ情報の訂正 4 : 貨物情報の訂正 3 : バンニング個数、重量、容積の訂正)

輸出管理番号等

0000405411

コンテナ番号

ABCD9876543

バンニング場所

1HB00 - ZOUCI-B00

積出港

コンテナ自重

 -

▼

シール番号

1

2

3

4

5

6

コンテナサイズ

コンテナタイプ

▼

ブッキング番号 (コンテナ)

ブッキング番号 (貨物)

バンニング個数

50

 -

BG

重量

500.000

 -

KGM

▼

容積

 -

▼

残個数

0

重量

容積

処理区分5

処理区分4

処理区分3

- VAD11業務で登録情報を呼出し、本業務で必要箇所を上書き訂正します。
- CLR(船積情報登録)後は、実施不可です。
- コンテナ番号の訂正はVAC(バンニング情報取消)を実施します。

VAA11業務 入力画面

コンテナ番号＊	ABCD9876543
バンニング場所	
輸出管理番号等＊	0000406511



VAA業務 入力画面

コンテナ番号＊	ABCD9876543
バンニング場所	1HB00 - ZUCHI-B00
輸出管理番号等＊	000406511
バンニング個数＊	100 - BG 重量＊ 1000.000 - KGM 容積 -
ブッキング番号（貨物単位）	

- VAN業務またはVAE業務で登録されたバンニング情報において、1コンテナ番号に対し輸出管理番号の紐付けを追加したい場合に行います。
- 1輸出管理番号にコンテナ番号の紐付けを追加したい場合は、VAE業務にて行います。

VAC業務 入力画面

コンテナ番号

輸出管理番号等

バンニング場所 -

コンテナ番号

輸出管理番号等

バンニング場所 -

コンテナ番号

輸出管理番号等

バンニング場所 -

(バンニング情報取消しの入力パターン)

		コンテナ番号単位の一括取消し※	輸出管理番号単位の一括取消し※	輸出管理番号等の取消し	コンテナ番号の取消し
1	コンテナ番号	○	×	○	○
2	輸出管理番号等	×	○	○	○
3	バンニング場所コード	△(入力者蔵置場は省略可能)	△(入力者蔵置場は省略可能)	△(入力者蔵置場は省略可能)	△(入力者蔵置場は省略可能)
4	バンニング場所地域等名	△(3で登録無い場合は必須)	△(3で登録無い場合は必須)	△(3で登録無い場合は必須)	△(3で登録無い場合は必須)

※輸出管理番号とコンテナ番号とが1対1の時は、輸出管理番号とコンテナ番号のどちらかを入力

○:必須項目 △:任意項目 ×:入力不可項目

(1) 未申告の場合 (CFS通関、CY通関)

VAC業務にてコンテナ番号を取消し、正しいコンテナ番号で再度VAN業務またはVAE業務が必要です。
既にCY搬入済であっても、CY輸出申告前または船積登録前であれば、VAC業務は可能です。
ただし、**コンテナ番号単位及び輸出管理番号単位での「一括取消し」はできません。**

VAC業務→VAN業務またはVAE業務

(2) 輸出申告済または輸出許可済の場合 (CY通関)

税関によるPAE(許可・承認等情報登録(輸出通関))の実施が必要です。

輸出申告済

PAE業務「TEK(輸出等申告撤回)」→VAC業務→VAN業務・VAE業務

輸出許可済

PAE業務「CEP(輸出取止再輸入許可)」→VAC業務→VAN業務・VAE業務

(3) CYA (CY搬入確認登録)業務後に特定輸出許可となった場合

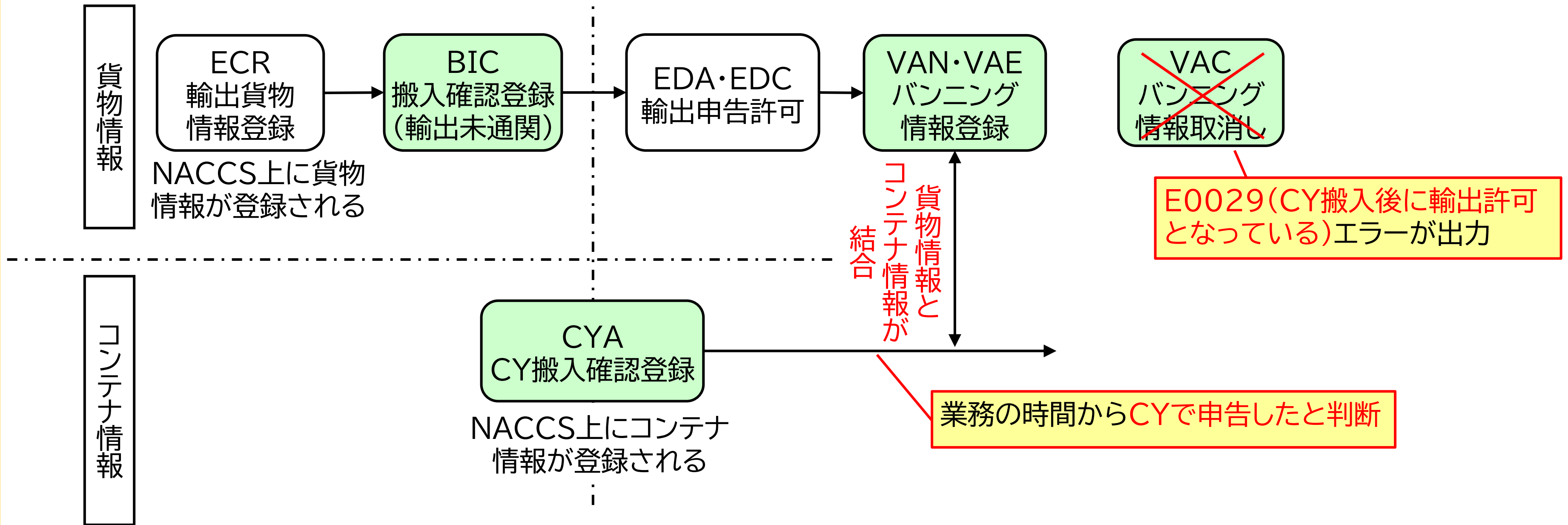
税関によるPAE業務の実施が必要です。

この場合はCYに必ず連絡した上で行ってください。

PAE業務「TOK(特定輸出許可取消し)」→CYO(CY搬出確認登録)業務「9:搬出確認」→ECR業務からやり直し

VAC:バンニング情報取消し 注意

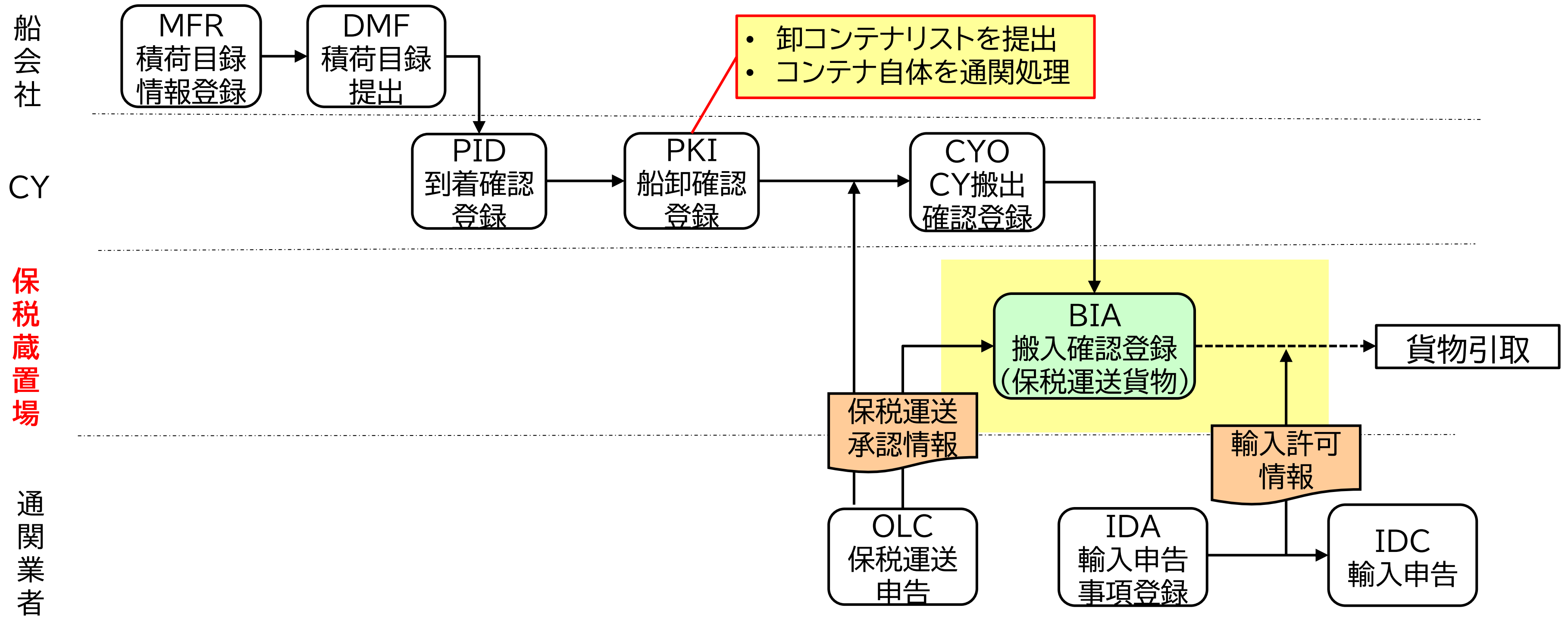
下記の場合はシステム上、**CYで申告したと判断される**ため、コンテナ番号の入力ミス等におけるVAC業務はできません。



- 対処方法は、「①輸出申告の撤回をしてCYO業務を行い、再度ECR業務からやり直す」または「②誤ったコンテナのままで後続業務を行い、マニュアルで処理を行う」といった方法がありますが、いずれも税関の指示を受けてください。
- システム上は輸出申告・許可前に通関蔵置場から搬出されてCYに貨物が搬入されている「空通関」の状態ですので、税関から指導を受けることもあります。

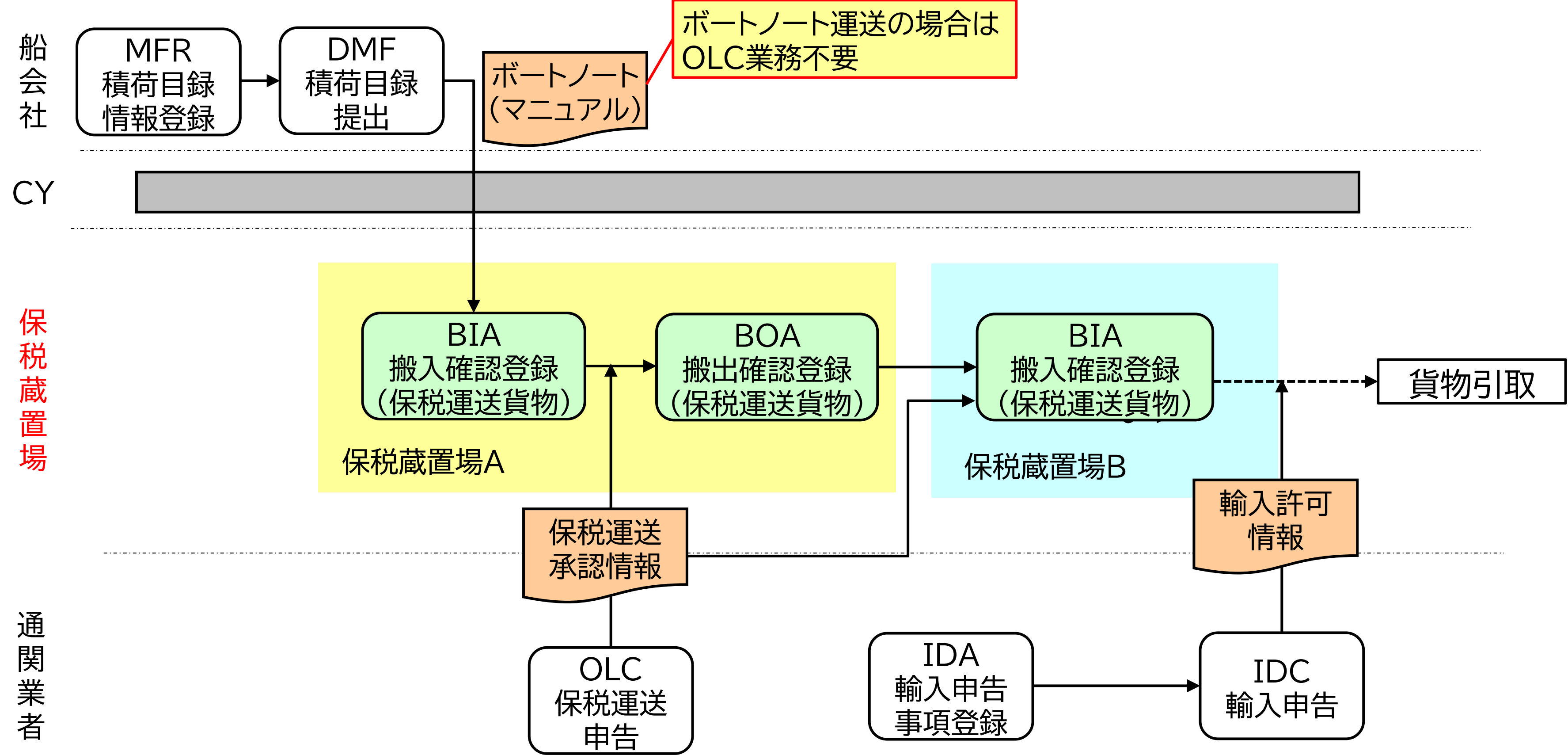
輸入貨物業務（保稅蔵置場）

輸入業務フロー(輸入コンテナ貨物)

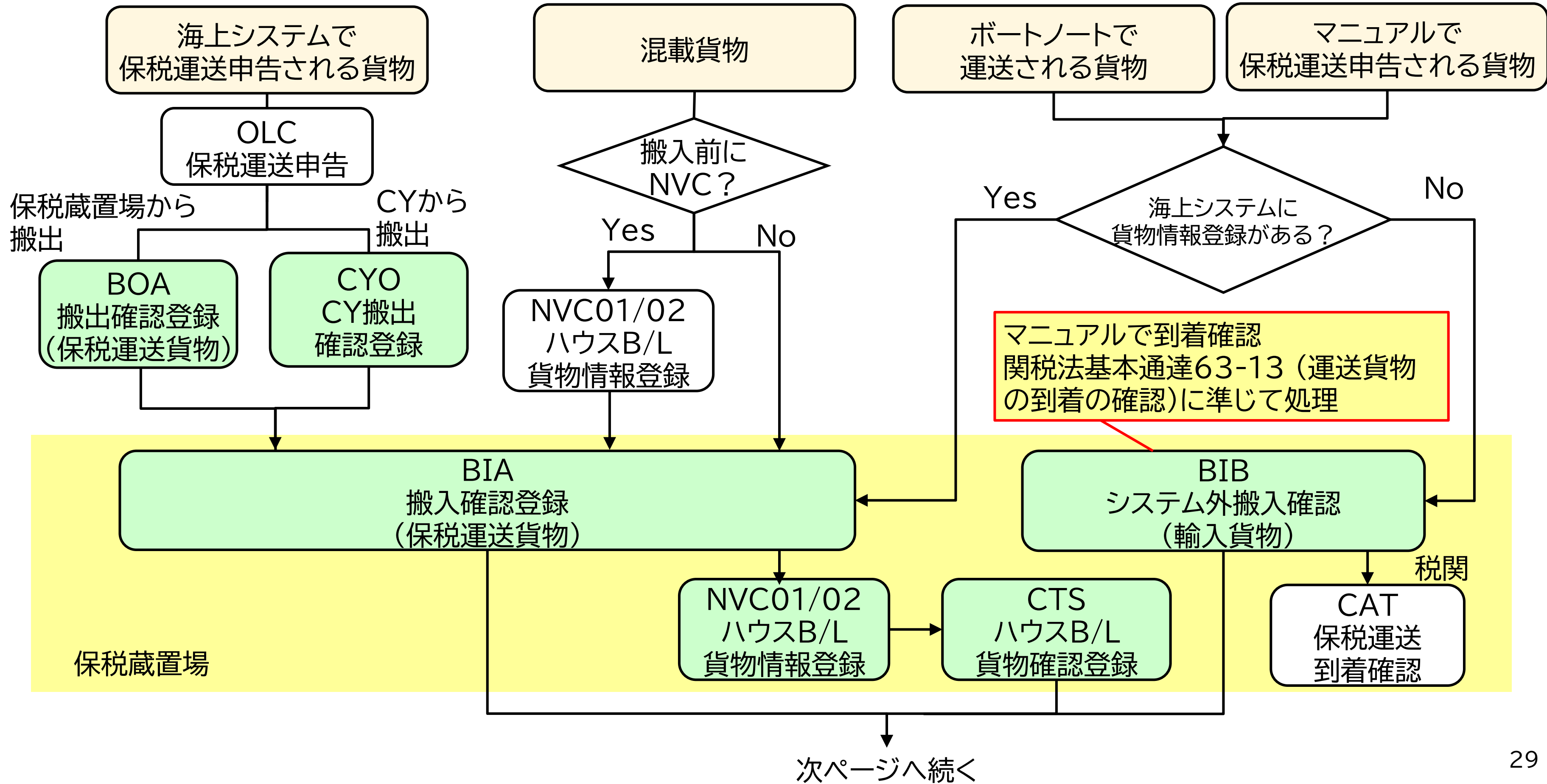


- 輸入通関する保税蔵置場への貨物搬入時は、保税蔵置場のNACCS参加・不参加にかかわらず、貨物の搬入または到着の情報をシステム登録する必要があります。
- NACCS参加保税地域等はBIA(搬入確認登録(保税運送貨物))業務を行ないます。
- NACCS不参加保税地域等は、書類を税関窓口を持参し、税関によるSAT(保税運送到着確認)業務を依頼します。

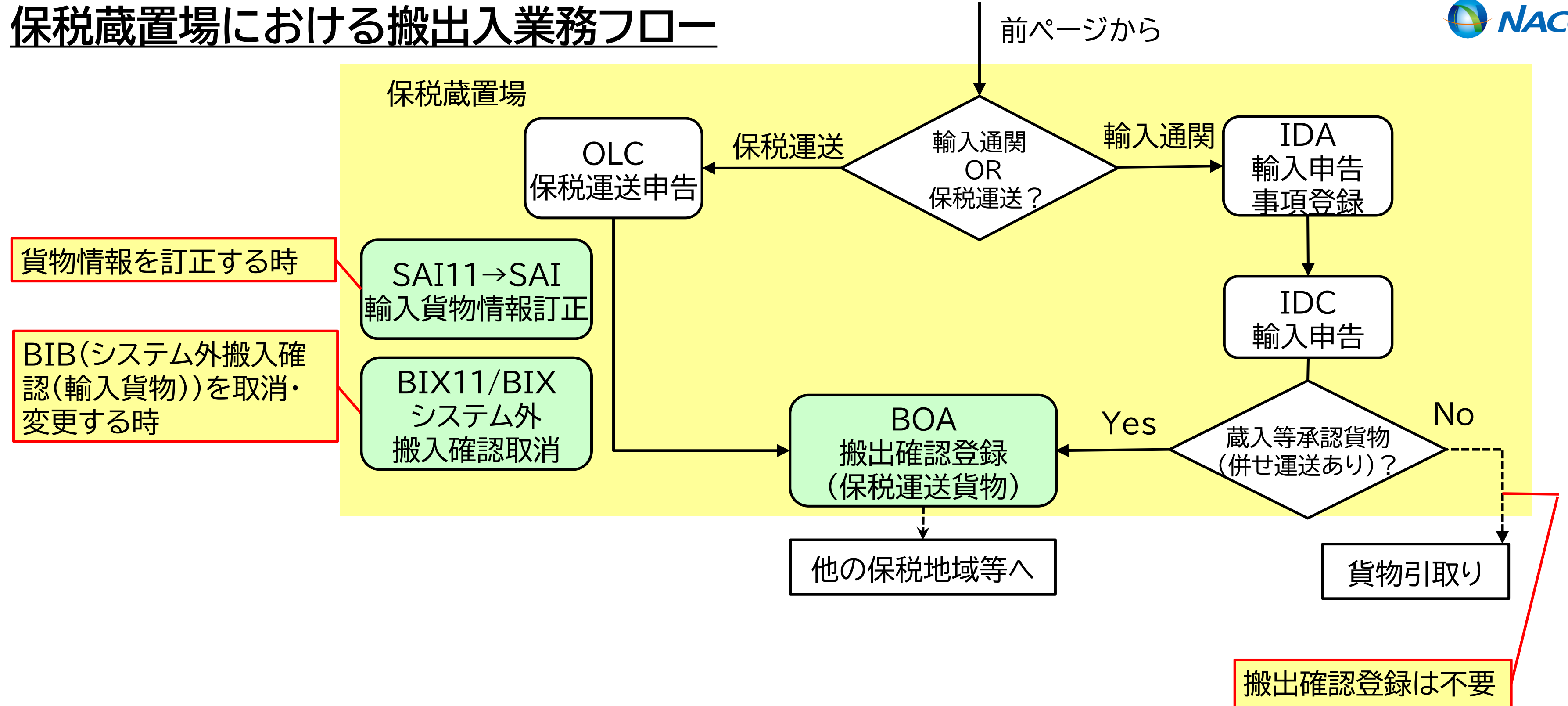
輸入業務フロー(輸入在来貨物)



保税蔵置場における搬出入業務フロー



保税蔵置場における搬出入業務フロー



保税蔵置場の管理資料として、貨物の搬出または輸入許可情報が登録された日の翌週に「輸入貨物搬出入データ(G01)」が出力されます。

BIA 搬入確認登録 (保税運送貨物)	NACCS参加保税地域等から保税運送した貨物を保税蔵置場に搬入する場合は、本業務により搬入確認を行います。 船卸場所からのボートノート運送等された貨物も本業務により搬入確認を行います。
BIB システム外搬入確認 (輸入貨物)	NACCS不参加保税地域等から到着した輸入貨物または仮陸揚貨物を保税蔵置場に搬入する場合は、本業務により搬入確認を行います。
BIX システム外搬入確認取消	BIB業務、CYB(システム外搬入確認(コンテナ単位))業務、CYD(システム外搬入確認(B/L単位))業務により登録された貨物情報の削除またはB/L番号の訂正をする場合は、本業務により貨物情報の削除またはB/L番号の訂正を行います。 本業務実施後に税関がCAR(訂正保留解除)業務を実施することにより後続業務が可能となります。
BOA 搬出確認登録 (保税運送貨物)	保税蔵置場に蔵置中のコンテナ詰めされていない貨物を保税運送のために搬出する場合は、本業務により搬出確認を行います。 コンテナ詰めされている貨物はCYO業務により搬出確認を行います。
SAI 輸入貨物情報訂正	保税地域等に蔵置されている貨物または仮陸揚貨物の情報を訂正する場合は、SAI11(輸入貨物情報訂正呼出し)業務により貨物情報を呼出し、本業務により訂正します。 当該訂正はPKI業務が行われてから輸入許可等が行われるまで行うことができます。 訂正保留となった場合は、税関によるCAR業務が行われるまで当該貨物の移動・取扱等を行うことができません。

BIA:搬入確認登録(保税運送貨物)

BIA業務 入力画面

搬入日時※ 2024/02/17 - __:__ 搬入識別※ A 搬入蔵置場

1 番号 15000075850

到着個数 - 重量 - 容積 - 危険貨物

記号番号

通知識別

事故 1 2 3 4

記事

- A: 保税運送申告番号で登録するとき
(一度に登録できるのは1申告)
- B: コンテナ番号で登録するとき
(一度に登録できるのは1コンテナ)
- C: B/L番号で登録するとき
(一度に登録できるのはB/L20件まで)
- D: ボートノート搬入貨物または揚地詮議有りの貨物のとき
(B/L番号を入力。一度に登録できるのは20件まで)
- E: コンテナ検査後に運送指定され到着する貨物のとき
(輸入申告番号を入力。一度に登録できるのは1件)

搬入識別が「C」「D」の場合は
必須入力

選択する「搬入識別」により
入力する番号が異なる

- OLC業務が実施された貨物を保税蔵置場に搬入する場合は、本業務を行います。
- 本業務によりコンテナ情報と貨物情報が切り離されます。(本業務は**デバンニングの搬入**です。)
- BIA業務で登録した情報を訂正するには、SAI11業務により貨物情報を呼出し、SAI業務を行います。
- BIA業務は取り消すことができないので、取消しが必要な場合は税関にご相談ください。

BIA:搬入確認登録(保税運送貨物)



保税運送貨物で
事故あり

バースからの
保税運送貨物

BIA業務の入力パターン

	保税運送申告番号 単位	コンテナ番号 単位	B/L番号単位	ボートノート 揚地詮議有貨物	コンテナ検査
1 搬入年月日(システム日より過去1年)	○	○	○	○	○
2 搬入時刻	△	△	△	△	△
3 搬入識別	A	B	C	D	E
4 搬入確認蔵置場(入力者と異なる場合)	△	△	△	△	△
5 搬入確認する番号	○ 保税運送申告番号	○ コンテナ番号	○ B/L番号	○ B/L番号	○ 輸入申告番号
6 到着個数、個数単位コード	×	×	○	○	×
7 重量、重量単位コード	×	×	×	○	×
8 容積、容積単位コード	×	×	×	○	×
9 危険貨物等コード	×	×	△	△	×
10 記号番号	×	×	△	△	×
11 事故税関通知識別コード、事故コード	×	×	△	△	×
12 記事	×	×	△	△	×

○:必須項目 △:任意項目 ×:入力不可

※揚地詮議有貨物: 貨物の数量が揚地(本邦輸入地)の保税蔵置場に搬入の際に確定する貨物のこと

BIA:搬入確認登録(保税運送貨物) 注意

搬入確認時に事故(不足・破損等があった場合)のBIA業務

BIA業務 入力画面

搬入日時* 2024/02/17 - __:__ 搬入識別* **C** 搬入蔵置場

1 番号 WXYZ1234567890

到着個数 998 - BG 重量 - 容積 - 危険貨物 ☐

記号番号

記事

通知識別 **Z**

事故 1 SHORT 2 WETTO 3 4 5

CまたはDの場合のみ事故通知が可能

Z:税関への通知を要する事故
M:税関への通知を要しない事故

OVERR(数量超過)、DENTE(へこみ)、
BROKN(破損) など
NACCS掲示板>NACCS業務仕様・関連資
料>「事故種別コード」参照

本業務で税関に事故通知(Z)をした場合は、貨物情報は保留状態となり、
税関でのDMC(事故確認登録)が必要となりますので税関にご連絡下さい。

BIB:システム外搬入確認(輸入貨物)

BIB業務 入力画面

B/L番号*	0TH0ABC12345678		
保税運送承認番号等*	9876543210		
搬入日時*	2024/02/14	搬入場所	
船舶*	9999 - ZEIKAN MARU		
仮陸揚識別		船卸港*	JPTYO
最終仕向地	JPTYO	入港日*	2024/02/12
荷送人	-		
名称	NACCS CHINA CO.,LTD.		
住所	999 SILVER STREET, SHANGHAI, CHINA		
住所 St.1			
住所 St.2			
住所 City			
住所 Country-sub			
住所 Postcode		住所 Country	
電話番号	1234567890		
荷受人	P005A5550000 -		
名称			
住所			
住所 St.1			
住所 St.2			
住所 City			
住所 Country-sub			
住所 Postcode		住所 Country	
電話番号			
品名*	VEGETABLE PRODUCTS		
品目番号			
記号番号*	NACCS IN DIA MADE IN CHINA		
発送個数	110	到着個数*	100 - BG
総重量*	1000 - KGM	ネット重量	
原産地	CN	危険貨物	
通知識別	Z	事故 1	SHORT 2

- 海上貨物の場合、先頭4桁は船会社コード(NACCS用船会社コード)
- B/L番号が不明の場合は先頭4桁は「OTH0(ゼロ)」と入力し、その後に別途定める規定により入力
- 5桁以上で入力
- カンマは入力不可

必須入力

保税運送承認番号が無い場合はボートノート番号などを入力

- 法人番号がある場合:法人番号
- 法人番号がない場合:輸出入者コード
- 法人番号と輸出入者コードの紐づけがない場合:ブランク
※名称:入力、住所等:入力
- 輸出入者コードがない又はわからない場合:ブランク
※名称:入力、住所等:入力

※住所は連続入力用または4分割入力用のいずれかに入力

NACCS掲示板>NACCS業務仕様・関連資料>「事故種別コード」参照

連続入力用

4分割入力用

Z:税関への通知を要する事故
M:税関への通知を要しない事故

- マニュアルで保税運送承認された貨物を搬入する場合は、本業務によりNACCS上に貨物情報を登録します。
- 本業務の取消し及び登録したB/L番号の訂正は、BIX(システム外搬入確認取消)業務により行います。

BIX:システム外搬入確認取消



BIX11業務 入力画面

削除貨物管理番号＊

削除するB/L番号または輸出管理番号を入力

BIX業務 入力画面

削除貨物管理番号 貨物種別

削除理由コード＊ (DBL: 貨物の二重登録 MIS: B/L番号の入力ミス OTH: その他)

削除理由

新貨物管理番号

許可承認番号

シス外搬入確認実施日 - 搬入日時 -

船舶コード -

入港年月日 船卸港 積出港

輸出入者 -

品名

記号番号

個数 - 重量 - 容積 -

最終仕向地 危険貨物 ☐ 社内整理番号

コンテナ番号

- 削除理由コードが「DBL」の場合
正しい貨物管理番号(削除を伴わない貨物管理番号)を入力
- 削除理由コードが「OTH」の場合
具体的な削除理由を入力

削除理由コードが「MIS」の場合は訂正後のB/L番号を入力

- 本業務により貨物情報は保留となるため、税関によるCAR業務実施後に後続業務が可能になります。
- 本業務の実施可能期間は、システム外搬入確認登録を行った日を含む3日間(日曜・祝日除く)です。ただし、輸入申告・保税運送申告等の後続のNACCS業務が行われた場合は実施不可です。

BOA:搬出確認登録(保税運送貨物)



BOA業務 入力画面

処理区分*

9

(9 : 搬出確認 1 : 搬出取消し)

搬出日時

2024/02/14

-

__:

__

発送地

貨物管理番号

1

WXYZ1234567890

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

- 全量搬出したことを確認してから入力
- 搬出日が複数日にまたがった場合は、最後に全量搬出された日を入力

発送地が入力者の管理する保税地域等の場合のみ入力省略可能

B/L番号または輸出管理番号を入力
1回で20件まで入力可能

- コンテナ詰めされていない貨物を保税運送申告後に搬出する場合は、本業務を行います。
- コンテナ詰めされている貨物をCYから搬出する場合は、CYO業務を実施します。
- 本業務の取消しは、処理区分「1:搬出取消し」にて貨物管理番号単位での取消しが可能です。ただし、到着地の保税蔵置場で搬入がされている場合は、取消不可です。

SAI:輸入貨物情報訂正



SAI11業務 入力画面

B/L 番号＊ OTH0ABC12345678

必ずSAI11業務にて情報を呼出し

SAI業務 入力画面(共通部)

共通部 繰返部

B/L 番号＊ OTH0ABC12345678

訂正理由＊ 6

保税運送承認番号等 9876543210

搬入日時 2024/02/14 - __: __

船舶 9999 - ZEIKAN MARU

船卸港 JPTYO 入港日＊ 2012/02/12 船積港 CNSHA

最終仕向地 JPTYO - TOKYO - TOKYO

荷送人 -

名称 NACCS CHINA CO.,LTD.

住所 999 SILVER STREET, SHANGHAI, CHINA

記号番号 NACCS IN DIA MADE IN CHINA

個数＊ 200 - BG 重量＊ 2000.000 - KGM

ネット重量 - 容積 -

原産地 CN

- 1: 個数・重量・容積の入力ミス
- 2: 個数・重量・容積のカウントミス
- 3: 税関に事故を通知した(事故税関通知識別:Zを入力した)貨物に関する訂正
- 4: 品名に誤りがある
- 5: 貨物の記号番号に誤りがある
- 6: その他の理由

※蔵入承認済貨物の場合は、先頭にSを付与
(例)個数・重量・容積の入力ミスの場合は「S1」

SAI業務画面で訂正箇所を上書き

本業務を実施した結果、帳票(SAS0760)の「訂正保留表示」欄が「P(訂正保留)」となった場合は、税関でのCAR業務が行われるまで後続業務ができません。

輸入貨物情報訂正情報

B/L 番号 OTH0ABC12345678

訂正保留表示 P 訂正実施者 1AHE5 訂正理由 6

(訂正前)

保税運送承認番号等 9876543210

(1)SAI業務で訂正できない項目

- ・税関のみ訂正が可能な項目
仮陸揚識別 / 仮陸揚事由コード / 仮陸揚期間
- ・システム外搬入確認により登録された場合のみ訂正が可能な項目
船舶コード / 積載船名 / 船卸港コード

(2)輸入申告情報の訂正が必要な場合

IDA(輸入申告事項登録)業務が行われている場合、SAI業務を実施しても輸入申告情報の下記の項目は訂正されません。
貨物情報と輸入申告情報の内容を一致させるため、別途通関業者が輸入申告情報の訂正も行う必要があります。

輸入申告情報の訂正も必要な項目

- ・船舶コード、積載船名、入港年月日、船卸港コード、船積港コード
- ・荷受人コード、荷受人名、荷受人住所、荷受人郵便番号、荷受人電話番号
- ・個数、個数単位コード、総重量、重量単位コード、記号番号

参考

ICG業務 入力画面

貨物管理番号*

指定情報

(指定情報)

T T L : 全体情報

S M R : 概要情報

C O N : 貨物状況情報

S H P : 荷送受人情報

E N T : 搬入予定情報

B N D , X X X X X
: 入在庫管理情報

T R N : 搬出入情報

D I T : 輸出入申告関連情報

O L T : 保税運送関連情報

D C L : 輸出入許可情報

P R M : 保税運送申告等税関手続情報

V A N : コンテナ貨物情報

D P R : 船積情報

R S H : 積戻し貨物到着時情報

A R R : 船卸情報

D M G : 事故情報

H A N : 搬入時申告情報

F T M : フリータイム情報

A M R : 出港前報告情報

H S T : 履歴情報

輸入の場合 ⇒ B/L番号を入力
輸出の場合 ⇒ 輸出管理番号

個数、重量、品名等の貨物情報や通関状況及び保税地域等への搬出入状況を貨物管理番号(B/L番号)単位に照会することができます。

ICG業務 結果(TTL:全体情報上段)

(全体情報)

貨物管理番号

次貨物管理番号

指定情報

次指定情報

最新更新日時

最新更新業務

最新更新利用者

最新更新日時

最新更新業務

最新更新利用者

貨物状況

荷渡可能表示

貨物種別

積戻し貨物表示

積戻し輸出管理番号

混載表示

マスターB/L番号

仕分仕合表示

仕分親貨物管理番号

荷受形態

荷渡形態

運送形態

搬入種別

通関種別

事故確認表示

事故

記事

品名

代表品目番号

記号番号

総個数

総重量

ネット重量

総容積

原産地

最終仕向地

貨物情報登録者

船会社

船舶代理店

通関業

危険貨物

ブッキング番号

社内整理番号

船舶

運航船会社航海番号

航海番号

入港日

船卸港

船卸場所

出港予定日

船積港

船積場所

処理状況を時系列に表示
・最新更新業務: 業務コードを表示
・最新更新利用者: 利用者コードを表示

22=輸出貨物(積戻し貨物を含む)
23=輸入貨物 28=仮陸揚貨物

MAN=貨物手作業移行
STP=差止中
SSP=訂正保留中
CHG=航空貨物切替
END=削除表示設定(仕分仕合済、デバンニング済等)
CCL=船積確認済
TRN=運送中
RS1=リスク分析結果事前通知済(ハウスB/L起因)
DNC=船卸許可申請中
RS2=リスク分析結果事前通知済
ULP=船卸許可済(船卸前)
M/F=積荷目録提出済
NAM=出港前報告未済
NTD=出港日時報告未済
NON=未搬入
ALT=本船・ふ中扱い貨物で許可後変更が必要
IS = 蔵入承認済(再蔵入承認済含む。)
ISW=蔵出輸入許可済
IST=AEO用蔵出輸入許可済
IMP=輸入許可済(BP承認済、蔵入承認済含む。)
EXP=輸出許可済(積戻し許可済含む。)
BND=未許可蔵置中

ICG:貨物情報照会

ICG業務 結果(TTL:全体情報下段)

荷受人

着荷通知先名 (1)

着荷通知先名 (2)

蔵置場所	搬入日	蔵置個数	発送地	搬出日	搬入先	搬出区分	搬入日

申告種別	申告番号	申告日	審査終了日	許可日

税関手続種別	手続者	許可承認番号	申告申請日	許可承認日	到着地
最新					
その前					

フリータイム日付

コンテナ数

1 /10

コンテナ番号	状況	フリー	コンテナ番号	状況	フリー	コンテナ番号	状況	フリー	コンテナ番号	状況	フリー
		タイム			タイム			タイム			タイム

ICG業務送信時の貨物の蔵置場所、蔵置個数を表示
貨物が運送中の場合ブランク

CYO業務、BOC業務、BOA業務等の搬出登録
CYA業務、BIC業務、BIA業務等の搬入登録の履歴を表示

輸出入申告が行われている場合に出力
許可済の場合は許可日を出力

輸出入申告以外(OLT等)の申請情報を表示

- A: 船卸前
B: 船卸済み
C: CY搬出済み
D: デバンニング済み
- E: バンニング済み
F: CY搬入済み
G: 船積み処理済み

ICN:コンテナ情報照会

ICN業務 入力画面

コンテナ番号*

ICN業務 結果(上段)

- 1:削除表示
- 2:差止中
- 3:容器通関済(コンテナリスト提出)
- 4:積荷目録提出前
- 5:積荷目録提出後、船卸前
- 6:蔵置中
- 7:運送中
- 8:バンニング経由中

- 4:空
- 5:実入

コンテナ番号

次コンテナ番号*

最新更新日時

/ / - :

最新更新業務

最新更新利用者

コンテナ状況

輸出入識別

船会社

コンテナオペレーション会社

空/実入

サイズ

タイプ

貨物数

荷渡形態

所有形態

バンニング形態

マニュアル輸出許可済識別

条約適用識別

卸コンテナ自動抽出対象外

搬出可能識別

船舶コード

-

航海番号

船卸港

-

積出港

入港年月日

/ /

船卸年月日

/ /

船積年月日

/ /

蔵置場所

-

搬入年月日

/ /

搬入確認者

発送地

-

発送年月日

/ /

搬出確認者

- 22:輸出
- 23:輸入
- 28:仮陸揚

ICN:コンテナ情報照会



ICN業務 結果(下段)

搬入先

-

経由地

-

保税運送登録者

包括保税運送承認番号

手続種別

提出番号等

手続年月日

/

/

登録者

コンテナ管理者

仮陸揚届出官署

仮陸揚事由

仮陸揚期間

バンニング

場所

地域名

年月日

情報登録者

1

-

/

/

2

-

/

/

3

-

/

/

4

-

/

/

5

-

/

/

シール番号

1

2

3

4

5

6

ブッキング番号

事故届出者

事故

1

2

3

4

5

事故確認状況表示

...

⏪

⏩

1

/10

⏪

⏩

...

01 貨物管理番号

品名

個数

-

許可・承認状況

当該コンテナに対して税関手続がされている場合に出力
DCN:卸コンテナリスト提出
LCN:積コンテナリスト提出
MCI:コンテナ輸入許可
OLC:コンテナ容器保税運送承認
KRR:仮陸揚空コンテナの仮陸揚届出

当該コンテナに紐づいているB/L番号、または貨物管理番号を出力

その他情報照会業務

主な情報照会業務

IWS(貨物在庫状況照会)業務

保税地域単位に蔵置中の貨物またはコンテナの在庫状況を照会します。

IOL(保税運送申告照会)業務

保税運送申告、包括保税運送承認に係る個別運送または特定保税運送の情報を照会します。

IBI(輸入貨物搬入予定照会)業務

保税運送承認済、包括保税運送承認に係る個別運送情報登録済または特定保税運送登録済の貨物の情報を、到着地単位に貨物管理番号の一覧として照会します。

IEC(輸出貨物搬入予定照会)業務

「輸出貨物情報登録」業務が行われた貨物のうち、保税地域に搬入予定の貨物の情報を、保税地域単位かつ搬入予定日単位に輸出管理番号の一覧として照会します。

ICG業務 結果(TTL:全体情報上段)

申告種別
LE

申告番号
13676194111

税関手続種別

手続者

最新

その前

フリータイム日付

コンテナ数

1

コンテナ番号

状況

フリー

コン

AAAA00000001

F

/

元に戻す(U) Ctrl+Z

切り取り(T) Ctrl+X

コピー(C) Ctrl+C

貼り付け(P) Ctrl+V

行コピー(K)

行貼り付け(H)

表貼り付け(S)

行挿入(I)

行削除(R)

画面クリア(D)

全チェックボックスをチェックする(O)

全チェックボックスのチェックを解除する(N)

フィールド属性表示(F)

業務リンク(L)

コンテナ番号

状況

フリー

タイム

INV (混載貨物情報照会)

IID (輸入申告等照会)

IEX (輸出申告等照会)

IEU (別送品輸出申告照会)

IOL (保税運送申告照会) 最新

IOL (保税運送申告照会) その他

ICN (コンテナ情報照会)

右クリック

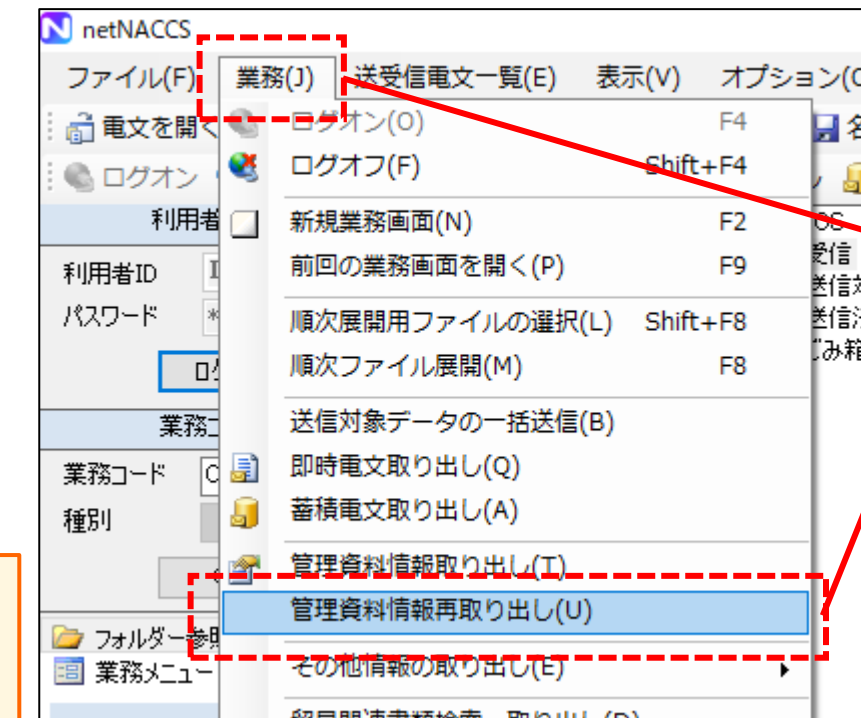
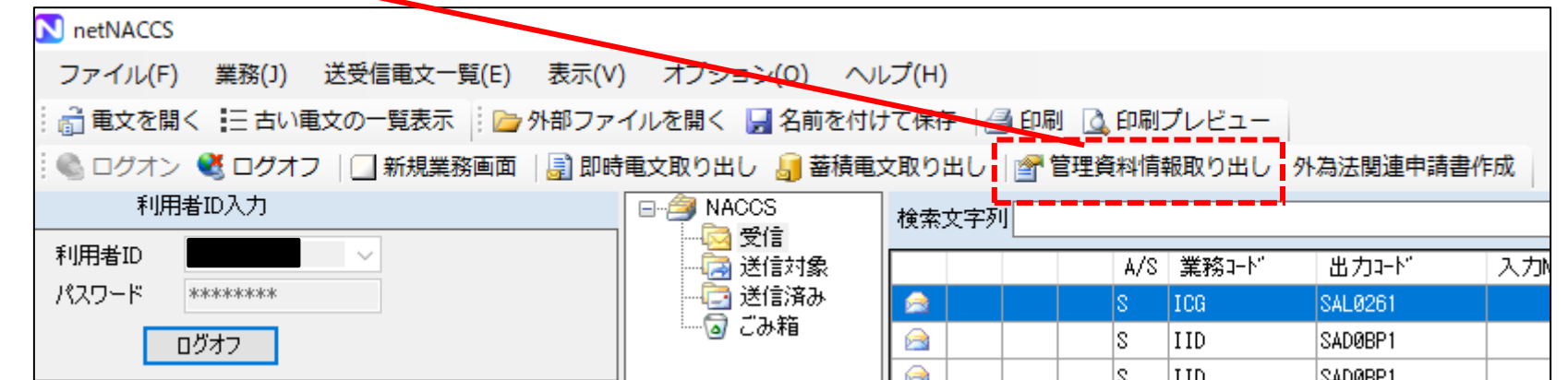
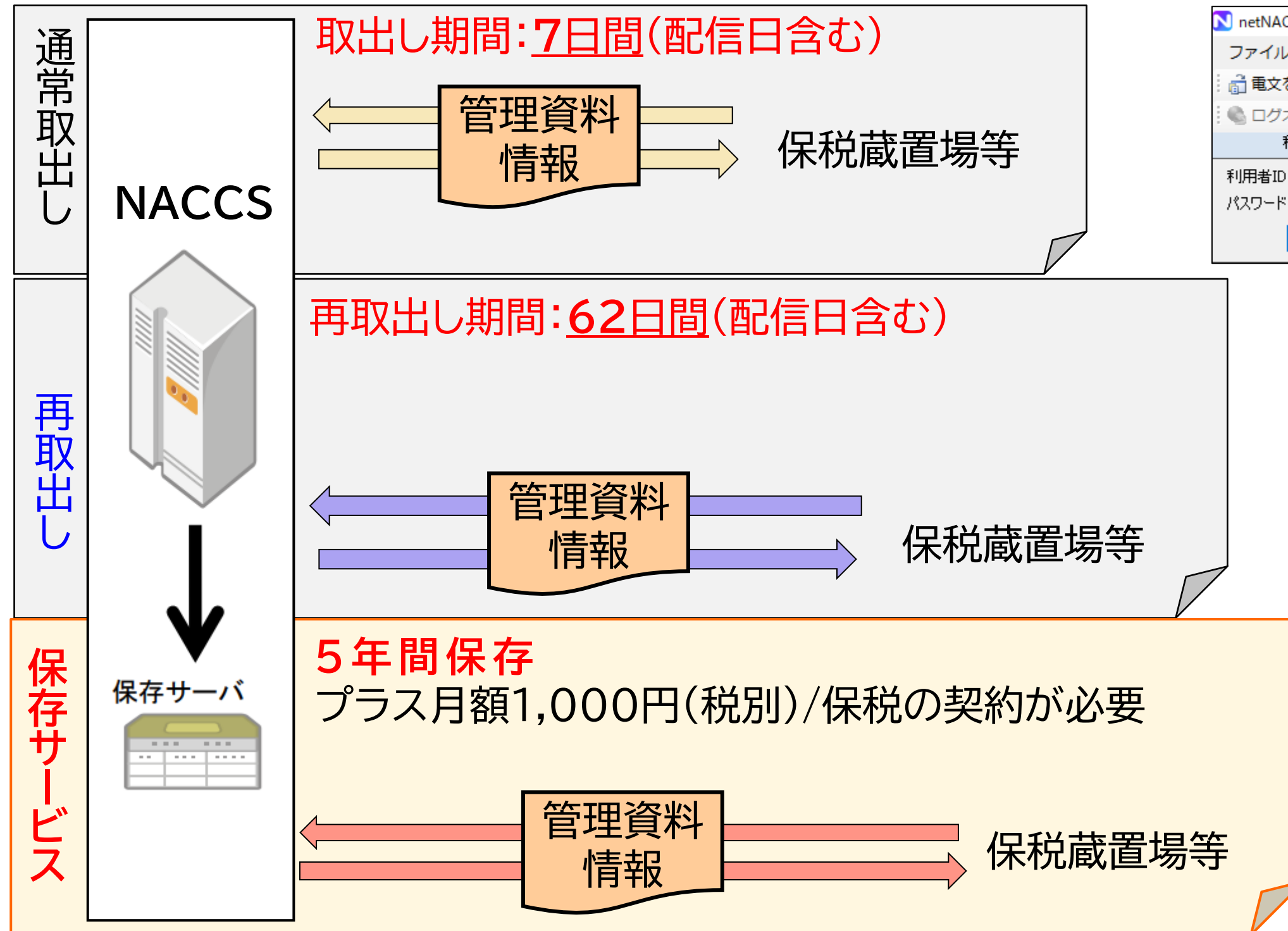
表示されたリンクメニューから照会業務を選択

ICG業務、ICN業務などの照会業務により表示された記号番号等のうち、別の照会業務を実施可能な場合にその照会業務を自動起動することができます。

管理統計資料

管理統計資料について

【管理資料取り出し】ボタンから取得



【業務】→【管理資料情報再取り出し】から取得

DLH01(保税管理資料再出力依頼情報登録・変更)業務による取出要求

管理資料の取得漏れは保税台帳の未記帳になる場合があります。上記期間に取得漏れがないよう管理が必要です。

管理統計資料について

保税台帳として取扱うことができる管理資料(保存サービスの対象)

海上	番号	管理資料情報名	出力コード	周期	
	G01	輸入貨物搬出入データ	SBS1400	週報	月曜
	G02	輸出貨物搬出入データ	SBT0200	週報	火曜
航空	G05	貨物取扱等一覧データ	SBS1700	週報	火曜
	T19	航空輸入貨物搬出入データ	ABS6900	日報	
	T20	航空輸入貨物取扱等一覧データ	ABS7000	日報	
	S13	航空輸出貨物取扱等一覧データ	ABT6300	日報	
	S14	航空輸出貨物搬出入データ	ABT6400	日報	

作成日						配信年月日、時刻	
名前						更新日時	
	G01輸入貨物搬出入データ	9080114_1AHB4_20080115	072453	csv		2015/11/09	16:17
	G01輸入貨物搬出入データ	9080121_1AHB4_20080122	070928	csv		2015/11/09	16:17
	G01輸入貨物搬出入データ	9080128_1AHB4_20080129	073304	csv		2015/11/09	16:17
	G02輸出貨物搬出入データ	9080114_1AHB4_20080115	072453	csv		2015/11/09	16:17
	G02輸出貨物搬出入データ	9080121_1AHB4_20080122	070928	csv		2015/11/09	16:17
	G02輸出貨物搬出入データ	9080128_1AHB4_20080129	073304	csv		2015/11/09	16:17

取得漏れを防ぐためにファイル名の「作成日」を確認しましょう。
海上は週報での配信のため、作成日は1週間おきです。
航空は日報での配信のため、作成日は連続した日付です。

管理統計資料の取出し

ファイル(F) 業務(J) 送受信電文一覧(E) 表示(V) オプション(O) ヘルプ(H)

外部ファイルを開く 名前を付けて保存 印刷 印刷プレビュー 電文を開く 古い電文の一覧表示

ログオン ログオフ 新規業務画面 即時電文取り出し 蓄積電文取り出し **管理資料情報取り出し**

管理資料取り出し

ファイル(F) 編集(E) 表示(V)

最新状態に更新 取得

管理資料名	出力情報コード	作成日付時刻	サイズ(KB)	状態
☐ I51 輸入申告一覧データ	CBD5100	2007/10/01 08:22:34	1	取得済み
☐ I51 輸入申告一覧データ	CBD5100	2007/11/01 08:10:15	1	
☒ I51 輸入申告一覧データ	CBD5100	2007/12/01 08:28:57	1	
☒ I51 輸入申告一覧データ	CBD5100	2008/01/01 08:04:45	1	
☒ I51 輸入申告一覧データ	CBD5100	2008/02/01 09:02:26	1	

取り出す管理資料をチェックしてください。3/5 の管理資料がチェックされています。

①

パッケージソフトの上部メニューから管理資料取り出しをクリックします。

②

取出、または再取出したい管理資料を☒選択します。

③

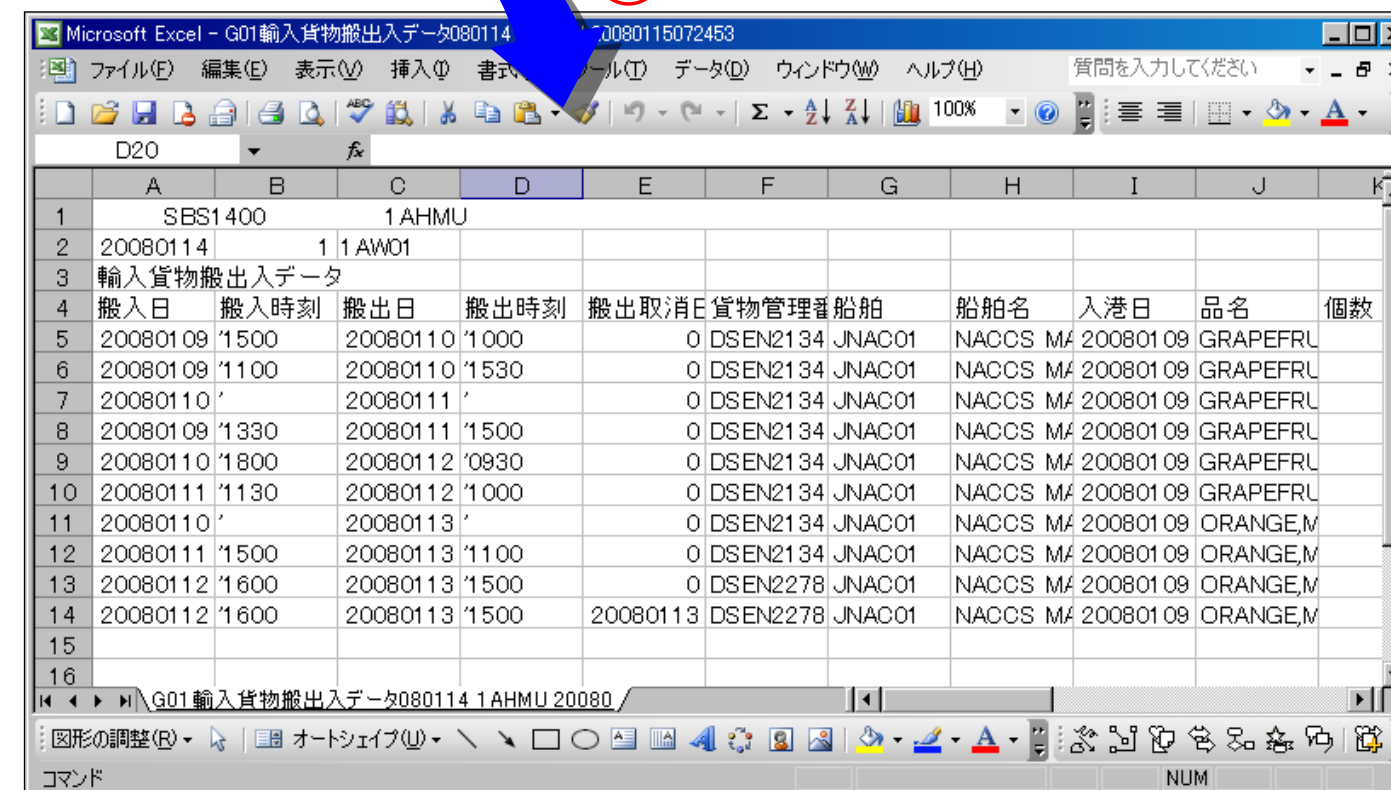
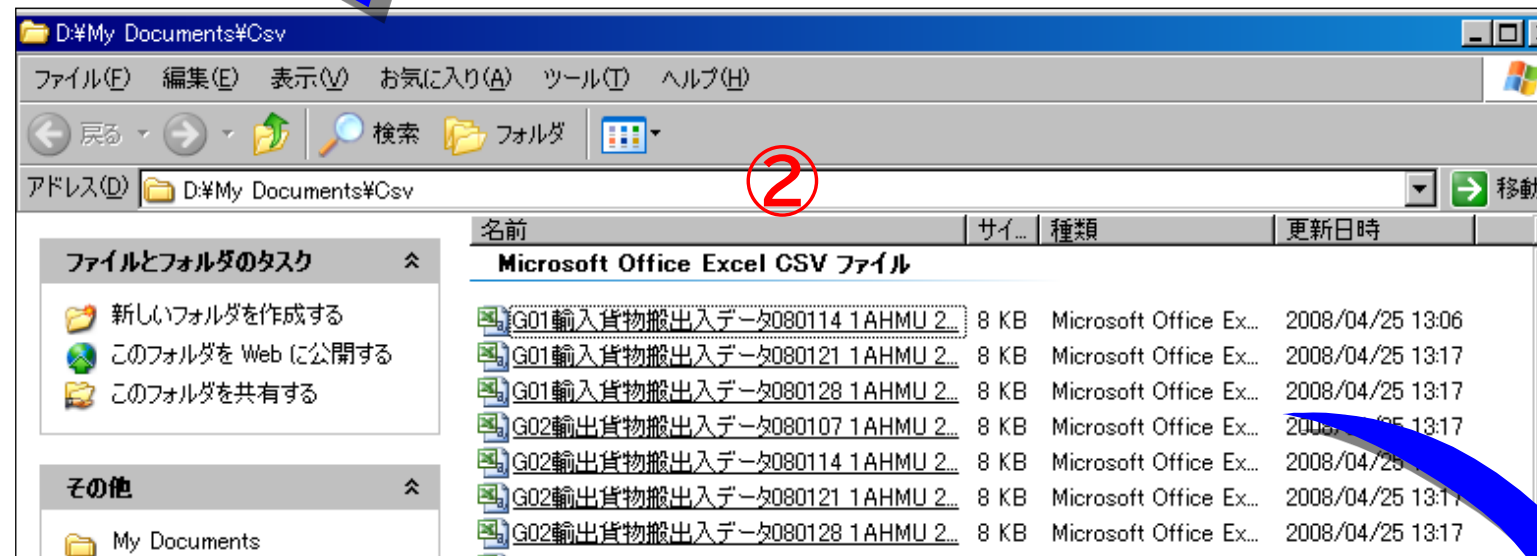
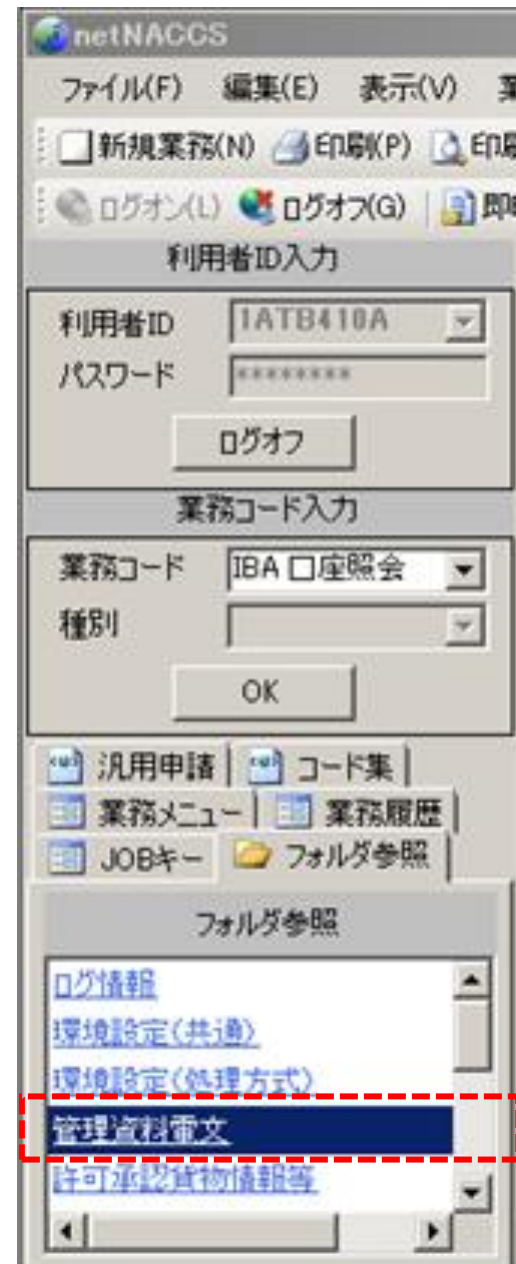
「取得」ボタンをクリックします。

• 取出したい管理資料をチェック

• まとめてチェックしたい場合は、右クリックしサブメニューを利用

取出後は「状態」欄が「取得済み」に変更

管理統計資料の展開



搬入日	搬入時刻	搬出日	搬出時刻	搬出取消	貨物管理番号	船舶	船舶名	入港日	品名	個数
20080109	1500	20080110	1000	0	DSN2134	JNAC01	NACCS M/A	20080109	GRAPEFRU	
20080109	1100	20080110	1530	0	DSN2134	JNAC01	NACCS M/A	20080109	GRAPEFRU	
20080110		20080111		0	DSN2134	JNAC01	NACCS M/A	20080109	GRAPEFRU	
20080109	1330	20080111	1500	0	DSN2134	JNAC01	NACCS M/A	20080109	GRAPEFRU	
20080110	1800	20080112	0930	0	DSN2134	JNAC01	NACCS M/A	20080109	GRAPEFRU	
20080111	1130	20080112	1000	0	DSN2134	JNAC01	NACCS M/A	20080109	GRAPEFRU	
20080110		20080113		0	DSN2134	JNAC01	NACCS M/A	20080109	ORANGE,M	
20080111	1500	20080113	1100	0	DSN2134	JNAC01	NACCS M/A	20080109	ORANGE,M	
20080112	1600	20080113	1500	0	DSN2278	JNAC01	NACCS M/A	20080109	ORANGE,M	
20080112	1600	20080113	1500	20080113	DSN2278	JNAC01	NACCS M/A	20080109	ORANGE,M	

- ① 「フォルダ参照」タブの「管理資料電文」をクリックします。
- ② 管理資料電文が保存されているフォルダが開きます。開きたいファイルをダブルクリックし展開します。
- ③ 管理資料電文を表計算ソフトで開きます。(画面はMicrosoft社のMS-Excelで展開したもの)

管理統計資料の活用(保税台帳の作成について)

(1)NACCSの管理資料を活用した保税台帳

特定の期間中に保税蔵置場より全量搬出のあった輸出入貨物の搬出入データ、貨物取扱及び見本持出のデータを保税蔵置場単位に蓄積し、管理資料(CSV形式)として毎週特定の曜日に提供しています。

注意点

- ・マニュアル処理された場合、従来どおり別途保税台帳に記帳する必要があります。
- ・電磁的記録により保税台帳を保存する場合、事前に税関への届出が必要となります。
具体的な取扱は管轄税関の保税部門にご確認ください。

(2)保税管理資料保存サービス

保税管理資料データの取だし期間(保存期間)を5年間(通常は62日間)とするサービス「保税管理資料保存サービス」を提供しています。

ご利用にはあらかじめ利用契約の変更手続きが必要となります(ご利用料金:1利用者コード毎に月額1,000円)

管理統計資料の活用(保税台帳の作成について)

海上 管理資料情報名

【G01 輸入貨物搬出入データ】

前週中に保税地域より搬出のあった輸入貨物の搬出入データを保税地域単位に出力します。

なお、搬出取消しのあった輸入貨物のデータも出力します。

【G02 輸出貨物搬出入データ】

前週中に保税地域より搬出(船積み含む。以下同様)のあった輸出貨物の搬出入データを保税地域単位に出力します。

なお、搬出取消しのあった輸出貨物のデータも出力します。

【G05 貨物取扱等一覧データ】

前週中に貨物取扱登録、貨物取扱許可された貨物の取扱等一覧データを保税地域単位に出力します。

また、見本持出許可申請または見本持出確認登録が行われた貨物においては、一定期間経過後に保税地域単位に出力します。

航空 管理資料情報名

【S13 航空輸出貨物取扱等一覧データ】

前日中に貨物取扱登録(仕分け及び仕合せの場合を除く)、貨物取扱許可された輸出貨物の取扱等一覧データを保税蔵置場単位に出力します。

また、見本持出許可申請または見本持出確認登録が行われた貨物においては、一定期間経過後に保税蔵置場単位に出力します。

【S14 航空輸出貨物搬出入データ一覧】

前日中に保税蔵置場より搬出入のあった輸出貨物のデータを保税蔵置場単位に出力します。

なお、搬出取消しや訂正のあった輸出貨物のデータも出力します。

【T19 航空輸入貨物搬出入データ一覧】

前日中に保税蔵置場より搬出入のあった輸入貨物のデータを保税蔵置場単位に出力します。

なお、搬出取消しや訂正のあった輸入貨物のデータも出力します。

【T20 航空輸入貨物取扱等一覧データ】

前日中に貨物取扱登録(改装・仕分けの場合を除く)、貨物取扱許可された輸入貨物の取扱等一覧データを保税蔵置場単位に出力します。

また、見本持出許可申請または見本持出確認登録が行われた貨物においては、一定期間経過後に保税蔵置場単位に出力します。

対象管理資料を5年間保存

- ・対象管理資料を5年間保存します。
- ・管理資料再出力依頼(DLH01)業務の利用により、必要な時に対象管理資料の再取り出しが可能です。

BCP対策

- ・管理資料は災害に強い高品質なデータセンターに設置されたサーバー(NACCS)で保管され、バックアップとして安心してお預けいただけます。

コスト削減・低価格

- ・対象管理資料を5年間保存し保税管理資料保存サービスの利用料金は、「月額1,000円(税抜)」です。
- ・弊社のデータセンターを利用する為、自社システムを構築するよりも、運用コストを抑えることが可能と考えられます。

保税管理資料保存サービス

お申込み方法

・**利用申込の入力例(変更申込)** | 「14. 保税管理資料保存サービスの変更」をご参照のうえ、NSS(NACCSサポートシステム)よりお申込ください。

NACCS 掲示板

TOP

NACCSのご利用方法

申込手続 (NSS)

NACCS業務仕様・関連資料

よくある質問

人・物・国をつなぐ

「総合的物流情報プラットフォームシステム」としてのNACCSを通じて、国際物流の発展に貢献します。

第7次NACCS

【申込手続(NSS)】のメニューボタンをクリック

NACCS 有料セミナー

実機操作を中心に、輸出入通関手続に関する講習

お問合せWebフォームはこちら

リアルタイム口座申込み

マルチペイメント (MPN) 利用方法

稼働時間 <24時間> (計画停止を除く)

16:45 現在 / 正常運転中

NACCS 運転状況メール配信サービス

新着情報

航空

海上

共用

税関

関係省庁

入管

乗員上陸許可支援システムのメンテナンスに伴う入出港業務等への影響について (2024年3月9日) (2024年03月04日)

NACCS

【お知らせ】原産地証明書のデータ交換に関するFAQの更新 (2024年03月01日)

NACCS

業務コード集更新のお知らせ (2024年03月01日)

税関

【6R】税関官署のシステム利用停止について (2024年03月01日)

検疫所 食品

輸入食品監視支援業務関連コード更新について (2024年02月29日)

3 NSSの利用方法 (利用申込)

1 利用申込の入力例

1-1 新規申込

1-2 変更申込

netNACCS端末の追加 事業所の移転 (引越し)

【1-2 変更申込】をクリック

利用者コード、利用者ID、業種等の変更	
8	利用者コードの追加申込
9-1	識別番号追加
9-2	識別番号の追加 (他事業所と利用者コードを共用する場合)
10	利用者IDの廃止申込
11	
12	
13	自管税関資料の区別変更
14	保税管理資料保存サービスの変更

【14 保税管理資料保存サービスの変更】のPDFマニュアルを参照

ご清聴ありがとうございました。

